

神戸の慰霊碑を訪ねて

阪神淡路大震災から25年を迎えて



阪神淡路大震災から25年目を迎えました。神戸アーカイブ写真館では、25年目にあたり、神戸市内各区に点在する慰霊碑（記念碑・再建鳥居、狛犬・モニュメント・観音、地蔵・植樹等を含む…以上「慰霊碑」として）はどうなっているのか調査することになりました。

参考にしたのが2004年(平成16)12月25日発行の「思い刻んで・震災10年のモニュメント（NPO法人阪神淡路大震災1.17希望の灯り・毎日新聞社取材班）」を基に、それ以降新しく建立された慰霊碑を調べ現場調査を実地しました。

その結果、「思い刻んで」による神戸市内での件数は97件でしたが、25年目の調査では、193件と倍以上の件数になりました。この倍増した大きな要因としては、

1. 神社・仏閣などの再建が、檀家や氏子からの寄付によることが多く、再建に10年以上要した。
2. 震災復興の土地区画整理事業や再開発事業は時間がかかるため、10年以上たって復興した地域が多く、完成した復興広場などに慰霊碑が多く建立された。

今回の現場調査では、10年目の調査であった慰霊碑が無くなっていたり、破損・植樹枯れなどがありましたが、調査の途中で新たに見つかった慰霊碑もありました。

以上の調査結果を区別に、場所・種類別に分析してみました。

| 神戸市内慰霊碑区別場所別件数 | | | | | | | | |
|----------------|----|------|------|------|----|-----|--|-----|
| 区分 | 公園 | 公共施設 | 一般施設 | 神社仏閣 | 墓地 | その他 | | 合計 |
| 東灘区 | 14 | 9 | 8 | 15 | 2 | 3 | | 51 |
| 灘区 | 8 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | | 24 |
| 中央区 | 15 | 9 | 4 | 10 | 0 | 3 | | 41 |
| 兵庫区 | 3 | 0 | 2 | 11 | 0 | 1 | | 17 |
| 長田区 | 14 | 5 | 2 | 7 | 1 | 4 | | 33 |
| 須磨区 | 6 | 2 | 2 | 4 | 0 | 1 | | 15 |
| 他三区 | 0 | 2 | 2 | 5 | 3 | 0 | | 12 |
| 合計 | 60 | 30 | 23 | 55 | 9 | 16 | | 193 |
| % | 31 | 16 | 12 | 28 | 5 | 8 | | 100 |

区別の件数でみると、東灘区・中央区・長田区となっていますが、東灘区が最も多いのは死亡者が1,471人と最も多いのが、慰霊碑の多さとなっています。中央区は死亡者は244人で少ないのですが、神戸の中心地ということもあり、慰霊碑の中でもモニュメントが多い特徴があります。長田区は死亡者が919人と区の中で3番目ですが、火災での被害が多く復興区画整理や再開発事業関連による慰霊碑が多く見られます。灘区は件数としては4番目ですが、死亡者は933人と2番目の数字です。灘区の場合は被災場所が、個々よりも地域として集約されているところが多く、慰霊碑も地域に集約され4番目の数字になっています。

場所別でみると、公園(ポケットパーク等含む)が60件(31%)と最も多く、公共施設である公園が最も慰霊碑を建立しやすい場所であると云えます。公園の多くは震災後にできた復興・防災公園ですが、震災前からあった公園は、震災時に全国から集まったボランティアの活動拠点となった公園も多く見られました。

次に多いのが神社・仏閣で55件(28%)あり、建物自体の倒壊もありますが、鳥居、狛犬、玉垣などの石造構造の被害が、2番目に多い要因です。



3番目の公共施設(30件・16%)都は、兵庫県や神戸市の施設、敷地及び交通機関など準公共機関を含んでいます。一般施設(23件・12%)は民間の施設、敷地及び個人宅。墓地(9件・5%)は、公共墓地と民間墓地。その他(16件・8%)は、公道、私道の道路脇にある慰霊碑となっています。

| 神戸市内慰霊碑区別種類別件数 | | | | | | | | |
|----------------|-----|-----|--------|------|------|------|-----|-----|
| 区分 | 慰霊碑 | 記念碑 | モニュメント | 観音地蔵 | 神仏再建 | 移・植樹 | その他 | 合計 |
| 東灘区 | 25 | 10 | 4 | 4 | 9 | 3 | 3 | 58 |
| 灘区 | 10 | 9 | 5 | 2 | 2 | 2 | 0 | 30 |
| 中央区 | 4 | 6 | 23 | 1 | 3 | 3 | 4 | 44 |
| 兵庫区 | 2 | 4 | 3 | 2 | 7 | 1 | 0 | 19 |
| 長田区 | 7 | 4 | 14 | 4 | 3 | 2 | 1 | 35 |
| 須磨区 | 1 | 2 | 9 | 3 | 1 | 1 | 0 | 17 |
| 他三区 | 3 | 3 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 12 |
| 合計 | 52 | 38 | 61 | 19 | 25 | 12 | 8 | 215 |
| % | 24 | 18 | 28 | 9 | 12 | 5 | 4 | 100 |

次に慰霊の区別種類ですが、東灘区は慰霊碑と記念碑を合わせると35件と半数以上を占め、犠牲者が多かったことを示しています。また神仏再建の多いのは、神社の数が多いとの激震地域であったことが要因と思われます。中央区はモニュメントが23件で半数以上と、他区よりズバ抜けて多くなっています。これは神戸の中心地で、公共の施設や観光的な公園（東遊園地・みなとのもり公園・メリケンパークなど）が多く、震災の直接被害での慰霊碑ではなく、震災を忘れないモニュメントが多く建てられたのが要因と思われます。

慰霊碑の種類別では、モニュメントが61件(28%)と最も多く、その中でも中央区と長田区で37件と全区の半数以上を占めています。慰霊碑は52件(24%)ですが記念碑と合わせると90件(42%)と半数近く占めますが、記念碑の多くは、神社仏閣などの再建記念や、その他の種類との併合で建立されている場合が多く見られます。

神仏再建は25件(12%)を占めていますが、再建には神社や仏閣全体の再建と、鳥居や狛犬など部分的な再建が含まれています。観音地蔵は19件(9%)を占めていますが、慰霊碑や記念碑の代わりに観音像や地蔵、仏像などを造って建立したケースが多く見られます。移植樹は12件(5%)ですが、震災に遭った樹木の移植と、記念の植樹が大半を占めます。

今回の現地調査を終えて、一部には欠損した慰霊碑や草木に隠れて見えにくい慰霊碑などもありましたが、大半は25年を経た今でも、清掃を欠かさず献花も見られ、大切に守られていることが判明しました。また、慰霊碑に掘られた犠牲者の名前と、亡くなられた方への慰霊の言葉は様々ですが、25年たった今でも震災当日の出来事が昨日のように蘇ってきます。

全区の慰霊碑200カ所近くの「慰霊碑を訪ねる」事は大変ですが、阪神淡路大震災から25年の記念にあたり、多くの皆様が慰霊碑を訪れる事は、亡くなられた多くの方々への供養となるでしょう。

今回の調査において、NPO法人阪神淡路大震災1.17希望の灯り発行の「思い刻んで・震災10年のモニュメント」を参考及び一部引用させていただきました。



東灘区震災慰靈碑マップ

東灘区



▲学校敷地内そのため立ち入る場合は事前に許可が必要です。

震災から25年 神戸市内の慰靈碑を訪ねて

東灘区の慰霊碑を訪ねて



01. 宝島池公園内 【慰霊碑】

震災25記念



阪神芦屋川駅西出口より、南の四つ角を西へ歩き、次の四つ角を北に向かい阪神の線路を越えてすぐ線路沿いに西に一町きます。

1995年1月17日午前5時46分に発生した、未曾有の阪神淡路大震災により、この地で犠牲となられた95柱の御靈を、此処に祀り、冥福をお祈りするために、慰霊碑を建立する。

1997年3月17日 繁栄自治会

02. 桜子ちゃん観音 【観音像】



JR甲南山手駅南出口から線路に沿って東に歩き、広い道路東側のカーブに面した建物の玄関わきにあります。

阪神淡路大震災で生き埋めになり亡くなった「桜子ちゃん」を偲ぶため、住宅を再建するのを機に、おじいさんが玄関わきに建立したものです。

03.もり公園内【鎮魂碑】



JR甲南山手駅南出口から、線路に沿って西側の南北道路北西角「もり公園」内、森会館の南側にあります。

「鎮魂 あの日のあの時を忘れない でも忘れてはいけない いつまでも」 平成7年1月17日午前5時46分 阪神淡路大震災 と書かれ、銘板には亡くなられた76名の名前が刻まれています。

平成17年1月16日建立 森公園阪神淡路大震災慰靈碑設立委員会 森財産区管理会

04.磯島公園内【慰靈碑と時計塔】



阪神深江駅下車、東側の南北道路（稻荷筋）を南へ、国道43号を渡り、2つ目の筋を東に行くと磯島公園が見えます。東灘区深江南町4丁目7地先

「避難所や仮設住宅のあったこの公園に、犠牲者慰靈碑と「子どもたちのすこやかな成長を願い」と書かれたモニュメントが平成13年1月に建立されました。慰靈碑の裏には、この地域で亡くなられた外国人も含めた20名の名前が刻まれています。またその隣には5時46分で止まったままの時計塔も設けられています。

05.大日靈女神社【再建記念碑】



阪神深江駅下車、東側の南北道路(稻荷筋)を南へ、一筋目の四つ角の北東角に大日靈女神社があります。

←再建された社殿と狛犬

阪神淡路大震災において、社殿や狛犬等が倒壊したため、平成8年12月に狛犬が再建され、平成13年11月には、社殿が再建されました。その完成を記念して「御社殿新築再建記念碑」が建立されました。

06.正壽寺【本堂新築再建記念碑】



阪神深江駅下車、線路沿いに東に一町歩き、角を南に折れ、次の四つ角を東に行くと北側にあります。

阪神淡路大震災において、本堂・鐘楼・山門が全壊しました。

平成8年に本堂再建委員会を結成して、平成12年4月に落成、その再建を記念して平成13年4月に「本堂新築再建記念碑」を建立しました

07. 深江駅前ハーモニーガーデン【復興プレート】



阪神深江駅下車、東側の南北道路（稻荷筋）を北へ、角のコーブこうべ深江店を東に歩くと、南側にマンションが見えます。

阪神淡路大震災で全壊した「深江ショッピングセンター協同組合員所有の跡地に建築されました。「着工に至るまで6年近く経過しましたが、勇気ある転廃業された土地権利者の誠意により完成を見ました」と書かれた銘板が、1階の单车置き場にあるプレートに記されています。

08.本庄村公園内【桜植樹】



公園の北端に大きく成長した桜と「阪神淡路大震災復興記念樹」と書かれた石碑が建っています。

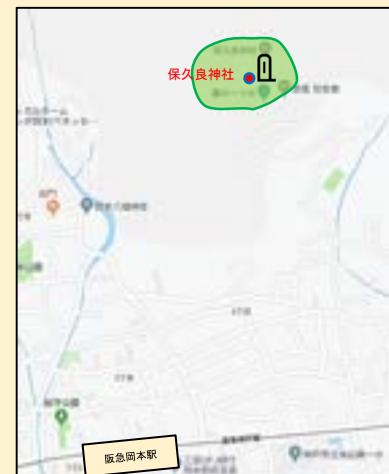
阪神深江駅下車、東側の南北道路（稻荷筋）を北へ、5つ目の四つ角を西へ少し歩くと公園が見えます。

09.本山第三小学校【しだれ梅植樹】



校舎横の花壇に「みんなの心の木」と名付けられた「しだれ梅が植えられています。学校敷地内にあるため、入る際は必ず事前に学校の許可をもらってください。

10. 保久良神社【再建記念碑】



阪急岡本駅下車、駅東の南北道路を北へ歩き、保久良神社参道口から車道を歩いて保久良神社に

阪神淡路大震災で甚大な被害を受けましたが、平成7年12月「灘の一つ火燈籠」平成8年「大鳥居と社殿等」平成9年「神輿」平成11年「玉垣・社務所」平成2年8月には、復興完了記念として「阪神大震災復興記念碑」が建立されました。

11. 中野北公園内【慰靈碑】



中野北公園内の本山中町会館前に、阪神淡路大震災で亡くなられた、本山中町1-3丁目の方々75名を弔う慰靈碑が平成8年1月17日に建立されました。

JR摂津本山駅下車、線路沿いを東に6町ほど歩くと中野北公園があります。慰靈碑は西端の本山中町会館前にあります。

12.中野南公園内【慰靈碑】



阪神深江駅下車、線路沿いを西に歩き、南北道路(商船大学線)を北へ3つ目の四つ角を西に、2つ目の四つ角の北西角に公園があります。

阪神淡路大震災で家屋を失った多くの方々が、この中野南公園でテント生活を送り、多くのボランティアが活躍したことで有名になりました。慰靈碑には命の尊さを示す「命」と書かれ、裏には「ありがとう地球の仲間達 あたたかい心 大きな愛 忘れない」中野南公園テント村自治会と書かれています。

13.神戸大学「白鷗寮【記念碑】



阪神深江駅下車、線路沿いを西に歩き、南北道路(商船大学線)を北へ、一つ目の四つ角を川沿いを西に歩き、2つ目の四つ角を北へ歩くと東側に寮が見えます。

白鷗寮は西側の道路から入り、中庭を真っすぐ東に進むと食堂やロビーのある中庭の南に「記念碑と植樹された梅の木」があります。

記念碑には「平成7年1月17日午前5時46分発生の阪神・淡路大震災における白鷗寮自治会の救助活動を記念してここに建立する。平成7年7月24日 神戸商船大学長 井上篤次郎」と書かれており、寮生が100名以上の人を助けました。

14. 本庄墓地内 【犠牲者慰靈碑】



阪神深江駅下車、線路沿いを西に歩き、南北道路（商船大学線）を越えて少し西に歩くと、旧本庄村の共同墓地が見えています。墓地の管理事務所を入ったすぐ右手に慰靈碑はあります。

旧本庄村の共同墓地の入り口に入ったすぐのところに、空襲犠牲者慰靈碑などと共に「阪神淡路大震災犠牲者慰靈碑」が建立されています。慰靈碑の裏には「…旧本庄村域（深江・青木・西青木）における330余りの犠牲者の方々を偲び冥福をお祈りするために慰靈碑を建立する。平成9年1月17日」と書かれています。

15. 神戸大学海事科学部 【犠牲者慰靈碑】



阪神深江駅下車、国道43号に出て南側の道を西に歩いて行くと、神戸大学海事学部の正面玄関が見えます。

正面入り口を入り、西側の海事博物館・講堂南の東西道を西に歩くと、保健管理センター建物西側の芝生の広場にあります。慰靈碑には「1995年1月17日午前5時46分に起きた阪神淡路大震災において、神戸商船大学の学生5名、研究員1名の前途有為な尊いのちが失われた。青春の限りない想いを永久に留めるためにこの碑を建立する。2007年1月17日 神戸大学海事科学部」と書かれています。

16.無量寺【再建鐘楼】



阪神淡路大震災で倒壊した無量寺境内の鐘楼は、平成17年8月に再建されました。再建された鐘楼のそばに「鐘楼再建施功識標」の碑が建てられています。



阪神青木駅下車、東に少し歩き、線路沿いのもう一本南の道を東に少し歩けば無量寺が見えます。鐘楼は入り口を入った右側にあります。

17.東灘消防局青木出張所【安寧の鐘】



阪神深江駅下車、線路沿いを西に歩き、線路の南に本庄中学校が見えたら、その西側の南北道路を北へ歩いて行くと、東側に神戸市東灘消防局青木出張所が見えます。

安寧の鐘は消防署員が作成した手作りで、今は入り口を入ったすぐ右手に置かれています。「おほないの叫び、復興への歩み、そして…「以上略…震災から3年、幾多の苦難を経て、ようやく失われた街からの復興を遂げつつあります。そこで、21世紀は間近に控え「自然と共生し、再び惨事を招かない願の象徴として、そして防災安全への固い意志として、手作りのメモリアルモニュメント「安寧の鐘」（社会が穏やかで平和なこと）を東灘消防職員115名一同により、ここ東灘の地に建立します。…以下略
平成10年3月7日 神戸市東灘消防署 署員一同

18.国道地蔵尊【慰靈碑と地蔵尊】



JR摂津本山駅下車、南に国道2号まで歩き、国道筋北側を東に3町歩くと宮地病院があり、その東隣に国道地蔵尊があります。

阪神淡路大震災によって倒壊した昭和7年建立の国道地蔵を再建した「再建由来記（平成10年8月）の碑と、2019年4月21日に、阪神淡路大震災で23人が犠牲になった東灘区本山中町4丁目の方々の慰靈碑が建立されています。

19.甲南大学内【災害記念碑】



阪急岡本駅下車、南口から西に天井川まで歩き北に川沿いを歩き、一つ目の角を西に橋を渡って、南西方向の道を西に4つ目の四つ角を北に歩くと、甲南大学の正門が見えます。正門から1号館まで歩くと入口の手前に慰靈碑があります。

1号館前の植え込みには「常ニ備エヨ」の碑があり、黒御影のデザインは午前5時46分の時計を現しています。下部には昭和13年の阪神大水害と阪神淡路大震災の記念碑として「天の禍を試練と受け止め 常に備えて 悠久の自然と共に生き輝ける未来を開いていこう」と書かれています。

向かいにある碑は、卒業生を含む37人の犠牲者の名前が刻まれた犠牲者慰靈碑です。

20.本山第二小学校【震災資料室】

震災資料室は学校校舎内にあるため、入る際は必ず事前に学校の許可をもらってください。



21.中之町公園内【慰靈碑】



慰靈碑の裏には、田中町1-4丁目・甲南町2-4丁目で犠牲になった133名の名前が刻まれています。
「ここに犠牲者の方々を偲び、ご冥福をお祈りするためにこの慰靈碑を建立する」と書かれています。



JR摂津本山駅下車、西に歩くと天井川があります。橋を渡って川沿いに南に3つ目の四つ角の西側に中之町公園があります。

22.山王神社【再建鳥居・狛犬】



山王神社は本殿をはじめ、鳥居や狛犬などが倒壊し、神社の神宜もなくなられています。本殿と鳥居は平成9年11月に再建、社務所や狛犬も平成31年に再建されました。

JR摂津本山駅下車、西に歩くと天井川があります。橋を渡って川沿いに国道2号まで歩くと西角に神社があります。

23.春日神社【再建鳥居と復興碑】



再建記念碑

震災で大きな被害を受けた春日神社は、平成9年2月に鳥居が再建、平成23年6月には拝殿が再建され、再建記念碑が建立されました。

阪神青木駅下車、駅中央北側の道を北へ、2つ目の角を西へ歩き天井川手前の北側にあります。



24.川井公園内【記念碑と植樹】



側だけ残された石碑

阪神青木駅下車、駅中央北側の道を北へ、2つ目の角を西へ歩き天井川を越えて3町ほど歩くと北側に川井公園があります。

阪神淡路大震災の復興記念として、近畿各地のベンチャークラブから寄贈された記念碑と八重桜が植えられています。八重桜は立派に育っていますが、石碑は側だけ残され、中の慰靈文はなくなっています。



25.横屋八幡神社【再建鳥居】



阪神青木駅下車、駅中央北側の道を北へ、2つ目の角を西へ歩き天井川を越えて3町ほど歩くと北側は川井公園、道路の南側の一角にあります。

震災で鳥居や玉垣が倒壊し大きな被害を受けた横屋八幡神社は、平成20年10月に鳥居が再建され、玉垣や社号碑は平成20年12月に再建されました。



倒壊した鳥居がそのまま残さ
れています

26.魚崎わかばサロン庭【慰靈碑】



魚崎町協議会と交流のある鳥取県江府町から救援物資と共に、お見舞金を頂いた資金などを基に、魚崎地区で亡くなられた206人の慰靈を弔うために建立されました。慰靈碑の場所は、通路奥の庭の中になります。

阪神魚崎駅下車、住吉川東の歩道を北に歩き、反高橋の交差点を東に歩き、魚崎小学校の西側にあります。

27.神戸市東水環境センター 【地中パイプ損傷物展示等】



震災で甚大な被害を受けた東水環境センターの改修工事で姿を現したグレーチングの変形した実物を展示しています。また室内には、被災した写真や処理場の復興過程などパネルが展示されています。

阪神青木駅下車、南へ国道43号まで、西に十二間道路まで、信号を南に、東に魚崎中学校を見ながら歩いて行くと西側にあります。展示室へはスロープを登って2階に玄関があります。

28.魚崎八幡神社【再建鳥居】



東側の鳥居から神社を

震災で鳥居や玉垣が倒壊したため、氏子たちの寄付によって平成9年12月に再建されました。再建前は石の鳥居でしたが、新しい鳥居は高さ5mの樹脂製に変わっています



阪神魚崎駅下車南へ、国道43号を渡り東に歩き、覚淨寺交差点を南へ、五百地公園の南にあります。

29.くび（花松）地蔵【再建】



昔は花松首地蔵と呼ばれ、首から上の病に靈験がありと信仰されていました。震災によって祠と共に倒壊しましたが、震災の年の5月に地域の人々によって再建されました。

「首から上の病に靈験あり」といわれるくび地蔵



JR住吉駅下車、国道2号を東に歩き、住吉川を越えてコープ生活文化センターの北東角に「くび地蔵」があります。

30.コープこうべ生活文化センター広場【鎮魂碑】



この鎮魂碑は、石の板を重ねて造られており、六甲山の山と神戸の海を表しています。震災で犠牲になった組合員およびコープこうべ関連会社職員の冥福を祈り建立しました。

JR住吉駅下車、国道2号を東に歩き、住吉川を越えると、北側にコープ生活文化センターがあり、その中庭にあります。

31. 東灘区役所横【慰靈碑・ブロンズ】



「乙女のブロンズ像」は、彫刻家の新谷英子氏が、再建したアトリエでの最初の作品で、「自然のエネルギーをキャッチして立ち上がり、進んでいく」思いを表しています。

彫刻と慰靈碑は「犠牲者の靈を慰めると共に、まちの早期復興を祈念して建立したものです」と書かれています。

JR住吉駅下車、国道2号を東に歩き、東灘区役所の東灘消防署東隣の広場にあります。



32. 住吉宮町公園内【慰靈碑】



阪神淡路大震災慰靈碑の裏には「誌・平成7年1月17日午前5時46分発生による阪神淡路大震災の被害に遭われた方々の慰靈と次代の人々の警鐘となす為、此處に慰靈碑を設ける。」 昭和18年12月吉日 吉田地区協議会

JR住吉駅下車、国道2号の住吉東町5の信号を南に歩き、住吉小学校の道路を隔てた西側に公園があり、慰靈碑は道路に近いところにあります。

33.求女塚東公園内【慰靈碑】



阪神魚崎駅下車、住吉川渡り西へ線路沿いに歩き4つ目の角を北に歩けば公園があります。

阪神淡路大震災慰靈碑の裏には「平成7年1月17日午前5時46分に発生した阪神淡路大震災により住之江地区で被災され亡くなられた方々の慰靈碑を建立する。と書かれており、亡くなられた40名の名前が刻まれています



34.御旅公園内【倒壊鳥居】 1



元住吉神社の御旅所がある御旅公園は、震災の時に仮設住宅が建設され、多くのボランティアが活動していました。西側の鳥居は震災で倒壊し再建されたもので、倒れた鳥居2本も御旅所前に保存されています。

阪神魚崎駅下車、住吉川の西側を南に歩き、菊正宗酒造記念館の角を西に突き当たるまで歩くと公園があります。

34.御旅公園内【復興記念植樹】 2



元住吉神社の御旅所がある御旅公園は、震災の時に仮設住宅が建設され、多くのボランティアが活動していました。活動記念にとボランティアグループが桜の植樹と記念碑を建立しました。

阪神魚崎駅下車、住吉川の西側を南に歩き、菊正宗酒造記念館の角を西に突き当たるまで歩くと公園があります。

35.西方寺【追悼の碑】



阪神御影駅下車、西側の弓場筋を南に、3つ目の信号のある交差点を西に歩くと西方寺です。



境内の本堂前に、「阪神淡路大震災 追悼の碑 生かされているこのいのち」と書かれた碑があります。

裏には「阪神淡路大震災の概要と西方寺の被災状況と共に、西方寺門徒の約8割が被災、門徒25名が往生、大震災から20年目を迎え、いのちの尊さ、生かされているいのちを後世に伝えるためこの追悼の碑を建立する。

平成27年1月17日 西方寺第14世住職 藤山宣基

36.茶屋地区会館【慰靈碑】



茶屋地区会館



茶屋地区会館南西角にある地蔵尊祠のすぐ隣に
「阪神淡路大震災 慰靈碑」が建立され、当地域
の宮町6丁目犠牲者26名と宮町7丁目3名の犠牲者の
名前を掲載した銘板がその脇に建てられています。

37.阿弥陀寺【追悼の碑】



住吉小学校・住吉村
役場 発祥の地 碑



阿弥陀寺の場所は、元住吉村役場と住吉小学校発祥の地と
して石碑があります。追悼の碑は、檀家の方の寄付によつ
て建てられ、阪神淡路大震災の追悼として建てられました。

JR住吉駅下車、南の線路沿いを
西に歩き、高架を北に越えたすぐ
西に阿弥陀寺はあります。追悼碑
は山門手前の脇にあります。

JR住吉駅下車、国道2号の住吉東町5信号交差点を南に歩き、
住吉小学校北角を西に5筋目の北東角にあります。

38.若宮八幡神社【再建鳥居】



市バス白鶴美術館を下車、北西の細い道を真っすぐ歩いて行くと若宮神社。阪急御影からは白鶴美術館に向かって歩いて行きます。



震災によって拝殿、鳥居などが倒壊しましたが、地元住民や氏子によって拝殿と鳥居が再建され、その後も新たに境内の鳥居や狛犬などが再建されています。

39.甲南病院【慰靈碑】



阪急御影駅下車、深田池公園の北西の道を北へ坂道を登っていくと、甲南病院前のバス道に合流し、すぐ西側にあります。



甲南病院敷地内の駐車場入口の東側庭園内にあります。

石碑には「阪神・淡路大震災犠牲者慰靈碑 飯島弥生 濱原春香 1995年1月17日、阪神・淡路大震災によって犠牲となられた甲南病院看護専門学校生の鎮魂を願い、平生鉢三郎の「常ニ備ヘヨ」の教訓と共に、この事跡を永遠に伝えていきたい。

2005年1月17日 財団法人甲南病院

40.弓弦羽神社【再建鳥居・慰靈之碑】



阪神淡路大震災 奉賛者名



震災で社務所が全壊し、鳥居も倒壊した弓弦羽神社では、平成10年1月に倒壊した鳥居を再建し、境内には鳥居の貫を使用した「阪神淡路大震災 奉賛者名」を建立、寄付していただいた方々の名前を刻んだ石碑がずらりと建てられています。



山手線から弓弦羽神社への入り口にある「慰靈之碑」百八名の犠牲者の名前が彫られています。

阪急御影駅下車、東の南北筋を南へ、交差点を東に歩くと弓弦羽神社の裏手の参道になります。

41.石屋墓園【追悼の碑】



石屋川沿いにある「石屋墓園」の入り口に入った所にある「追悼の碑」は、地域で亡くなられた75名を追悼するため、平成12年1月に、上石屋・浜石屋自治会などが建立したものです。



阪急御影駅下車、西側の阪急沿線沿いを西にまっすぐ歩いて行くと、石屋川の支流に突き当たり、その川に沿って南西に歩いて行くと、石屋川の合流する手前に石屋墓地があります。

42.石屋川公園【復興基準点】



東灘区御影町3丁目3の石屋川沿いにある石屋川公園の南東角にあります。

【復興基準点】

「この復興基準点はN0. 47・経度 東経135度14分50秒
緯度 北緯34度43分13秒 高さ 35.09m です。」

阪急御影駅下車、西側の広い南北道路を南に歩き、山手幹線の信号から西へ石屋川まで歩くと、北東角に石屋川公園があります。

43.綱敷天満宮【大鳥居の神額他】



阪神淡路大震災で倒壊した鳥居の「神額」が新たな鳥居のそばに記念として置かれています。

それ以外にも「阪神淡路大震災復興の碑」「母子像 珠」「復興祈願碑」など震災関連の碑が境内に建立されています。



復興の碑



造形作家本池氏「母子象 珠」



阪急御影駅下車、西側の広い南北道路を南に歩き、山手幹線の信号から西へ石屋川まで歩くと、川筋東側を南に歩くと神社が見えます。

44.御影小学校【句碑】

校庭にある句碑は学校校舎内にあるため、
入る際は必ず事前に学校の許可をもらって
ください。



45.リブ石屋川前【石碑】



阪神淡路大震災でアパートが倒壊し4名が無くなられた慰靈として、民家の前の道路脇の植え込みにひっそりと建立されています。碑には「1995.1.17 (Tue) 5:46」と書かれています。

阪神石屋川駅下車、東側の川沿いを少し北に歩くと、東側一筋目の南北筋の民家前にあります。

46.田中鉄工所壁画【手書き観音】



阪神石屋川駅下車、南の東西の道を東に3筋目の四つ角の家の壁面(東面)に描かれています。南北道路の高架北側は御影小学校があります。

阪神電鉄沿いにある田中鉄工所の東面に描かれている「手書き観音」で平成8年1月17日に復興祈願として製作されています。
壁画は高さ5m・幅2.5mで、震災された方々への供養にと描かれたものです。

47.振り向き子安地蔵菩薩【供養】



阪神石屋川駅下車、南の線路沿いを西に歩き、川を越えて一筋目線路高架北へ越えた北西角

一角の中心に「振り向き子安地蔵」が立っており、周りには名号三尊や石塔などが多く安置されています。
「覚書」によれば、振り向き子安地蔵は、「第二次世界大戦戦没者供養」と阪神淡路大震災被災者供養」と書かれています。



48.照明寺【無常石碑】



阪神石屋川駅下車、川沿いを南に歩き、信号のある交差点を西に2町めの四つ角を南に国道43号線まで歩くと西側角。

照明寺の南の正門からは閉まっています入れません。
東側の裏木戸から入れます。

無常 追悼の記「平成七年一月十七日未明、阪神淡路大震災は一瞬にして親子、親族、知友らの尊い生命 あまた 奪い去りました。人の命のはかなきことは、夢まぼろしの如し。ここを以って阿弥陀如来は、苦悩の衆生を哀れみて大悲の本願をおこし、南無阿弥陀仏の名号をあたえて、われらを救いたもう。合掌 平成12年11月3日第27世 恵壽

49. 東明八幡神社【再建鳥居】



東明八幡入社は震災で、大鳥居等が倒壊しましたが、平成13年1月に鋼管の大鳥居が建てられ、参道脇には「東明八幡神社震災復興奉賛者芳名碑」建立されています。また平成29年9月には燈籠や境内石鳥居なども新たに再建されています。



阪神石屋川駅下車、南へ国道43号まで突き当たり、西へ5筋目の北側に東明神社があります。神社北側は処女塚古墳です。

東明八幡神社震災復興奉賛者芳名碑

50. 阪神石屋川車庫【鉄道施設復旧の碑】



阪神石屋川駅下車、線路沿いに西に歩き、石屋川車庫の高架下、事務所の北側。

阪神電気鉄道(株)
阪神石屋川事務所「北側敷地内駐車場の北端」

「平成七年一月十七日の阪神淡路大震災により損壊した鉄道施設及び車両の復旧が、これに関わった多くの人々の英知と努力により成し遂げられたことを未永く記憶にとどめこの碑を建立する。 (平成8年3月17日 阪神電気鉄道株式会社)

灘・旧葺合区震災慰靈碑マップ



▲ 室内にあるため寺院に入るには許可が必要です。

震災から25年 神戸市内の慰靈碑を訪ねて

灘区の慰靈碑を訪ねて



01.成徳小学校【命の輝き】

震災25記念



阪神・淡路大震災により、ここ成徳小学校でも6人の尊い命が失われました。みんなで助け合い励まし合って、悲しみの中から立ち上がったことを、そして、この6人の友達のことを決して忘れません。これからも命を大切にし、苦しいことや悲しいことに負けず、輝かせて生きていきます。

1999年3月 神戸市立成徳小学校会



JR六甲道駅下車、東の南北バス道を南へ、2つ目の信号を東に3町歩くと成徳小学校が北に見えます。東側の四つ角を北へ川に沿って少し歩くと、西側に学校の入り口があり、橋を渡り入口からフェンスに沿って南に少し歩くとあります。

02.徳井会館東【復興拠点之碑】



「復興拠点之碑」は、北東角の徳井交番所前を東に歩き、徳井会館の東側にある広場の奥にあります。



徳井会館の東の広場奥に「復興拠点之碑」があります。徳井財産区管理会の碑で、生き残った者が元気で生きていくようにと建立されたものです。



JR六甲道駅下車、東の南北バス道を南へ、2つ目の信号を東に5町歩くと、広い南北道路に出会います。東側に徳井交番所があり、その南側の通りを少し東に歩くと、徳井会館があります。

03.徳井神社【再建狛犬他】



震災によって宮司夫妻が犠牲となり、神社全体が壊滅的な被害に遭いましたが、新たな宮司の基で、氏子たちと協力し、本殿・鳥居・狛犬・社務所と再建され現在に至っています。



04.鷹匠中学校【生徒の作文碑】

作文碑は学校校舎内にあるため、入る際は必ず事前に学校の許可をもらつてください。



05.石屋川公園内【生きた証・植樹桜】



石屋川公園には震災で息子夫婦を失った遺族が「二人の生きた証を残したい」と5本のソメイヨシノを植樹しています。桜の近くには「生きた証」と書かれた碑が建てられています。



阪急御影駅下車、南に歩き山手線から西に石屋川まで歩きます。交差点の西側のすぐ北側の石屋川公園内にあります。

JR六甲道駅・阪急六甲駅からも、山手線を東に歩き石屋川の交差点北へ

06. 善光寺高羽墓地 【慰靈碑】



JR六甲道駅前、または阪急六甲駅前から、16系統・106系統の市バス「六甲ケーブル下行」に乗車、「高羽バス停」で下車し、陸橋で東に渡ると南に善光寺高羽墓地が見えます。
慰靈碑は墓地の入り口にあります。

平成7年1月17日午前5時46分
阪神淡路大震災が当地を襲った。
高羽地区に多大の被害を
もたらし、多数の尊い生命が
奪われました。ここに、亡く
なられた方々のご冥福をお祈
りするとともに、震災の教訓
を生かし、当地区の人々が力
強く復興することを祈念し、
その証として碑を残す。

平成9年1月高羽協議会



07. 神戸大学構内 【犠牲者慰靈碑】



JR六甲道駅前、または阪急六甲駅前から、市バス36系統
「神大正面バス停」下車、または16系統・106系統の市バス
「神大国際文化研究科前バス停」下車、西に歩いて行く。
正面前の階段を上った右手芝生の広場内にあります。

「友よ神戸大学を、そして世界を
見続けて欲しい」とあり、1995
年1月17日5時46分に起きた兵庫
県南部地震により、学生39名の
前途有為な若く尊いのちが失
われた。余りにも悲しい出来事
であった。私たちは、諸君一人
ひとりの学問への情熱と輝か
しい青春の限りない想いを留める
ために、この碑を建立する。

1996年3月15日 神戸大学



08.六甲カトリック教会【マースランドの聖母・モニュメント「家族」】

モニュメント「家族」

マースランドの聖母



阪急六甲駅下車、北へ歩き六甲登山口交差点を北へ歩いて行くと東側にあります。「マースランドの聖母像」は入り口を入った建物の壁面に、「家族」は道の北角の庭の中に立っています。

震災時に活動拠点となった教会で、ベルギーのアントワープ市民より贈られた「マースランドの聖母像(阪神淡路大震災の犠牲者をしのんで)」と彫刻家の重岡建治氏製作のブロンズ像「家族(阪神淡路大震災で亡くなられた人々を悼んで)」があります。

09.都賀財産区墓地【慰靈碑】



都賀財産区管理会が建立した「阪神淡路大震災慰靈碑」は、「阪神淡路大震災犠牲者御芳名」として158名の犠牲者の名が刻まれています。

阪急六甲駅下車、南側線路に沿って西に、最初の四つ角を南に歩くと、東側に六甲小学校があります。信号のある三叉路を西に行くと墓地が見えます。慰靈碑は道路沿いにあります。

10.春日神社【再建鳥居・復興記念碑】



震災において全壊した本殿の復興を記念した碑と、鳥居や玉垣を造営した「新境内造営玉垣新設記念碑」があります。

阪急六甲駅下車、南側線路に沿って西に最初の四つ角を南に歩くと、東側に六甲小学校が見えます。小学校の南西角交差点の角に春日神社があります。



11.神前ふれあい公園【メモリアル手形陶板】



春日神社南の細い路地を西に行くと「神前ふれあい公園」が南の山手幹線沿いに「神前復興(福向)の道標があります。

神前ふれあい公園竣工を記念して、愛着を深めるため、神前町在住の子どもたちの手形を陶板にしました。また、山手幹線沿いに、地域の震災と復興を見学できる「神前復興(福向)の道」の道標が建っています。



12.防災せせらぎ道路【未来へ石碑】



JR六甲道駅下車、西側の道路を北に歩き山手線に出ます。山手線を西に3町歩き、南北道路の南を見ると、西側歩道脇をせらぎの川が流れています。「未来へ」の石碑は一番北側の湧き出し口にあります。

【未来へ】私たちの六甲道駅北地区では、阪神・淡路大震災ではほとんどの建物が壊れ、大きな火災も発生しました。たくさんの尊い命を失い、水の出ない消火栓の前で立ちつくし、つらく悲しい思いをかみしめました。避難生活のさまざまな苦労のなかでも、水の尊さが身に沁みました。こうした教訓を生かし、みんなが安心して楽しく暮らせるまちの再建をめざして、みんなで心と力を合わせて協働の復興まちづくりを進めてきました。そのシンボルとして、防災道路である六甲町線に「せせらぎ」をつくりました。いざというときには消火用や生活用水になるよう、ふだんはまちに季節と潤いをもたらし、憩いと語らいの場になるようと考えました。みんなで大切に育てていきましょう。

平成14年7月

六甲道駅北地区まちづくり連合協議会

13.六甲風の郷公園【復興モニュメント】



JR六甲道駅下車、西側の道路を北に歩き、広い東西道路を西へ、信号のある交差点を北に歩き、次の四つ角の北西角に「六甲風の郷公園」があります。モニュメントは、集会所の「風の家」の東側にあります。

当地域では60人余りが亡くなり、建物の多くが倒壊や火災で焼失したため、復興の区画整理事業が行われ、防災公園として「六甲風の郷公園」が完成しました。事業の復興を記念として8カ所のまちづくり協議会のモニュメントが設置されました。

14. JR 六甲道駅南 【全線開通記念碑】



JR六甲道駅下車、駅舎の2階から南のビルとのつなぐデッキの手前から西にすぐの場所にあります。煙草の喫煙場所のようなモニュメントなので少しづかれていくのでよく注意して探してください。

JR西日本の中でも六甲道駅は駅舎が全壊し、部分開通しかできませんでしたが、平成7年4月1日に復旧したのを記念して「全線開通記念碑」が設置されました。記念碑には「復興の誓い」と地震計のデータをもとにしたグラフと開通までの歩みが記されています。

15. 六甲道南公園 【鎮魂石塔】



JR六甲道駅下車、駅下の南北道を真っすぐ南に歩けば六甲道南公園があります。
鎮魂の石塔は、公園の南側の東端にある南八幡会館の南西角にあります。植え込みに囲まれて石塔があるため、少しづかれていく場所です。

震災復興市街地再開発事業によって完成した新しい街と、防災指定公園の完成を記念して建立したもので、六甲道南公園検討委員会により、阪神淡路大震災犠牲者の方々への「鎮魂」と「復興10年槌音止まず 鎮魂の祈り 未来へ伝う」と書かれています。

16.琵琶町公園【あの刻を忘れない】



慰靈碑のすぐ西側に「六甲道駅西地区震災復興土地区画整理事業」の完成記念植樹があります。

「平成7年1月17日午前5時46分、冬の遅い夜明け前、まだ暗闇につつまれた街を突如襲った大震災は、阪神・淡路一帯で未曾有の被害をもたらしました。琵琶町においても61名の尊い命を奪われ、家屋の全焼、全、半壊という壊滅的な被害を受けました。あの刻を長く記憶にとどめるために、琵琶町に縁のあるものたちによって、この慰靈碑は作られました。ここに、亡くなられた方々のご冥福を祈念いたします。平成14年3月24日



JR六甲道駅下車、西側の南北道を南に2歩歩けば西側に琵琶町公園があります。

17.若宮神社【再建神社】



阪神大石駅下車、都賀川沿いに南に歩き、国道43号の地下道をくぐって南へ、西郷橋の角に、西國浜街道の碑があり、橋を渡って交差点を東に旧西國浜街道を歩いて行きます。北に「妙善寺」を見ながら次の四つ角のある交差点を南に歩いて行くと、新在家地域福祉センターがあり、その南側が若宮神社です。

震災によって、本殿・鳥居・狛犬などが倒壊したため、平成12年に本殿と玉垣を、平成14年には地車倉庫改築、平成16年には鳥居が再建され、それらの完成を記念して、倒れた鳥居の柱を活用した「震災復興完成記念碑」が建立されました。

18.都賀川沿い【桜の植樹】



植樹活動家で歌手の「しらいみちよ」さんらが中心となって進めた「桜並木レクイエムロード計画」の一環として、大石南町の都賀川沿いに八重桜が植えされました。

阪神大石駅下車、都賀川沿いに南に歩き、国道43号の地下道をくぐって歩き、西郷橋の角に、西國浜街道の碑があります。そこから南の沢の鶴資料館付近までの都賀川沿いに八重桜が植樹されています。

19.大石財産区墓地【再建六地蔵尊】



阪神大石駅下車、南に歩き西側にある西灘公園昔の大石駅跡内を西に歩き、道路に出たところを南に少し歩くと墓地があります。墓地には鉄格子の門がありますので、開けたら必ず閉めてください。

善立寺にある大石財産区墓地内の六地蔵尊は、震災によって多くの墓石と共に倒壊しました。大石財産区の人々が倒壊した墓石や六地蔵尊を再建し、平成9年3月に「阪神淡路大震災再建地蔵尊」の石碑を建立しました。

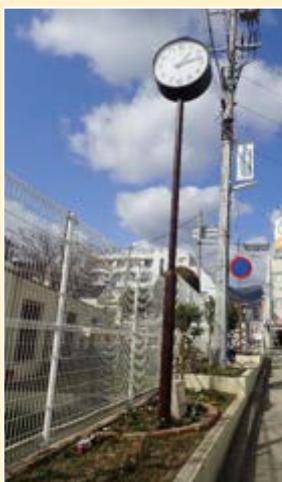
20.西灘公園内【慰靈碑】



西郷地区では8割近い家屋が全半壊し、113人の方々が亡くなりました。亡くなられた方々の名前を記した慰靈碑を、平成9年8月9日に西郷地区6町によって建立されました。

阪神大石駅下車、南に少し歩き公園内に「西郷地域福祉センター」の建物があります。慰靈碑は少し西側の公園南側にあります。

21.西灘小学校東【碑と時計】



阪神大石駅下車、北に歩き国道2号の交差点があります。南側の歩道を西側に歩いて行くと、南側に原田中学校と西灘小学校があり、その間の南北道にあります。

1995年1月17日午前5時46分、この地域を激震（震度7）が襲い、壊滅的な被害を受けました。この地震で、当時本校5年生の浅井亜希子さん（11歳）が、倒壊した自宅の下敷きになり、約8時間後救出されました。クラッシュ症候群と闘い続けましたが、惜しくも幼い命を奪われました。

「お母さん、泣いたらあかんで。私、大丈夫やから」亜希子さんの最後の言葉です。

この時計は、亜希子さんをはじめ震災の犠牲となられた多くの尊い命を忘れず、未来に向かって進む人々への希望となることを願って、ご遺族、あじさいの会の呼びかけに賛同下さった人々、西灘小学校育友会、同窓会、学校職員等の志を受けて建てられたものです

2000年1月17日

22.都賀川東 【復興の誓い石碑】



慰靈碑は、灘区勢振興会が建立したもので、灘区での大きな被害と933名の亡くなられた方々追悼と共に、震災から5年を迎えて、灘区の復興と灘区勢の振興発展を願って建立されたものです。

平成12年1月17日

阪神大石駅下車、北へ川沿いに歩き、国道2号・JR高架を越えて、山手幹線角にある灘区民ホール南側の都賀川の橋を渡った東側の公園の一角にあります。

23.都賀川西 【慰靈碑】



慰靈碑には、河原地区自治会員の犠牲者100余名、河原地域も時代と共に復興した安全で安心して暮らせる町づくりを目指して、ここに追悼の慰靈碑を建立する。

河原自治会役員一同

平成17年7月吉日

阪神大石駅下車、北へ川沿いに歩き、国道2号・JR高架を越えて、山手幹線角にある灘区民ホールの南側の公園内にあります。

24. 岩屋公園内【10周年記念碑】



阪神西灘駅下車、線路に沿って西に歩き、西郷川を越えると公園が見えます。慰靈碑はグランドのある公園の南東角にあります。

記念碑には、「震災の教訓を大切に、安全で安心して暮らせる岩屋のまちづくりを」とあり、「当町内に於いては死亡六十余名、家屋四百余りが全壊と町全体が半壊し全滅となつたが、十年を経て約九割が復興したのでここに建立すると書かれています。

岩屋ふれあいまちづくり協議会・岩屋連合町会・岩屋十二町会

25. 敏馬神社【再建鳥居・希望の石碑】



「定礎」の裏が「希望碑」になっています。



阪神岩屋駅下車、南へ国道2号まで歩き、東に1町歩けば北側に神社が見えます。希望碑は鳥居を入り西に社務所前

定礎・希望碑は、敏馬神社と若宮神社、住吉神社の修復を終えた記念として建立されました。鳥居は石造りの様であるがステンレス製で、平成13年12月吉日で敏馬神社震災復興奉賛会寄進者一同の寄付で再建されました。

中央区（旧生田区）震災慰靈碑マップ

兵庫区

中央区 (旧生田区)



震災から25年 神戸市内の慰霊碑を訪ねて

中央区の慰靈碑を訪ねて



震災25記念

01. 兵庫県立美術館【SUN・SISTER】



阪神岩屋駅下車、真っすぐ南へ歩き、兵庫県立美術館の南岸壁沿いにあります。

過去・現在・未来を見つめ、希望の象徴として「輝く太陽」を手に持ち大地に立つ少女像は、阪神淡路大震災20年のモニュメントとして建立されました。

東日本大震災の復興を祈念して建立された子ども像「Sun Child(2012年茨木市)」の姉のような存在であり、世界中のすべての災害からの復興・再生を見守っています。

02. 人と防災未来センター 1



阪神岩屋駅下車、真っすぐ南へ歩き、兵庫県立美術館の西側にあります。

施設の周辺には様々な震災関連のモニュメントなどが配置されています。

- ◇ 水に浮かぶ5時46分の角度を示すモニュメント
- ◇ 座屈した鉄筋 ◇ 神戸の壁ベンチ
- ◇ 鎮魂のカリヨンの時計塔
- ◇ 人未来館記念植樹 他

2004年（平成16）4月、阪神淡路大震災から得た貴重な教訓を世界共有の財産として後世に継承し、国内外の地震災害による被害軽減に貢献すること、および生命の尊さ共生の大切さを世界に発信することを目的に設立されました。現在は防災未来館を「西館」、ひと未来館を「東館」として一体的な運営を行っています。

02.人と防災未来センター 2

【座屈した鉄筋】



【鎮魂のカリヨン時計塔】



神戸ライオンズクラブ50周年記念事業として、3月に東館と西館の間に建立されました。この広い通路で2003年3月に創立されました。

阪神高速道路コンクリート橋脚で、RC橋脚基部付近での曲げせん断の破壊部分です。
人と防災未来センター南側の広場にあります。

名称：阪神大震災
鎮魂のカリヨン時計塔
神戸ライオンズクラブ
阪神大震災記念事業 2003年3月

02.人と防災未来センター 3

【鎮魂の碑】



【神戸の壁ベンチ】



説明の詳細は長田にある「神戸の壁ベンチ」を参照

鎮魂の碑モニュメントは、1995年1月17日の阪神淡路大震災の起こった時刻5時46分を示す角度を表しています。「未曾有の衝撃を与え、そのときを境に人々の生活に大きな変化をもたらした震災の記憶を永遠に伝えるため。」

03. 宇佐八幡神社 【復興記念句碑】



神戸ラグビー部「コベルコスティーラーズ」の必勝祈願寄せ書き

当神社は、神戸製鋼グループの神社として知られ、神戸製鋼ラグビーの優勝祈願はここで行われています。倒壊した鳥居などを再建した際に復興記念句碑が建立されました。
「蘇る八幡乃宮の境内の楠の若葉に光耀り映ゆ白鳳」



阪神岩屋駅下車、南へ国道43号まで歩き西へ小童詠めの信号を渡り斜め南西の道を高速道路まで歩くと、北角にあります。

04. 科学技術高校 【震災復興の木】



阪神岩屋駅下車、西に歩き駅前手前を北へ。JR灘駅からは南のロータリーへ斜め南西へ歩くと学校が見えます。



震災で亡くなった旧御影工業高校生4名の慰靈のため植えられていましたが、2004年に統廃合され市立科学技術高校が中央区に建てられた際に移されました。校舎の芝生部分に「震災復興の木」の標識と共に4本の山茶花が植えられています。

05.筒井公園【記念碑と植樹】



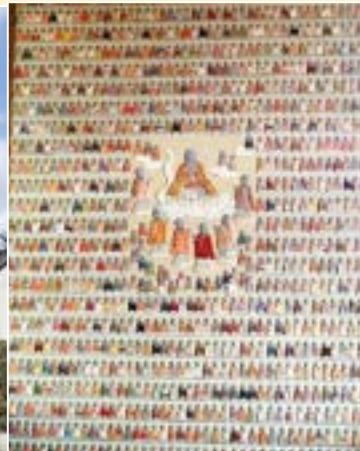
震災復興記念植樹
筒井公園
平成12年1月17日



公園が避難場所や救援拠点であったため、その記念として、「筒井公園 震災復旧記念植樹」と刻まれた石碑と植樹された桜の木があります。

阪急春日野道駅下車、春日野道商店街を南に、一筋目の四つ角を東に3町ほど歩くと南側にあります。記念碑は公園の北側付近にあります。

06.常光寺【押絵千体地蔵】



阪急春日野道駅下車、春日野道商店街を南に、2筋目の西行三叉路を西に1町歩くと北側にあります。お寺は鉄筋4階建てで、玄間に呼び鈴があるので、訪問理由を述べて開けてもらいます。押絵千体地蔵は2階の本堂にあるので、お寺の方が案内してくれます。

毎年1月17日には「押絵千体地蔵」の法要があるので、その日がベストの日になります。

「押絵千体地蔵」（建て2m 横1.8m）は震災1年後に奉納され、本堂の壁面に掲げられています。「震災で亡くなった人の魂を慰め残された人々の心の拠り所に」と作られました。奉納したのは、押絵「みやび流」の三代目、小西松甫さんとそのお弟子さん150人によって制作されました。

07.春日野公園【記念碑と植樹】



公園が避難場所や救援拠点であったため、その記念として、「春日野公園 震災復旧記念植樹」と刻まれた石碑と植樹された木があります。



春日野公園の地下には、雨水貯留施設になっています。



阪神春日野道駅下車、北に歩き2つの信号を渡った次の交差点を東に歩くと、南に春日野小学校があり、その北側が春日野公園です。

08.筒井八幡神社【再建鳥居】



阪神淡路大震災
復興協賛



JR灘駅下車、阪急の高架を越えて城内歩道橋を北へ歩き、国体道路を西に3町歩き北へ、東に宮本小学校があり、その西側が宮本小学校で、北側が筒井八幡神社となります。

再建された鳥居は宮本公園内にあり、鳥居の裏には「復興阪神淡路大震災 平成12年10月吉日」の銘板があります。また境内には奉賛された方々の名前が書かれた銘板があります。

09.歓喜院【慕心石碑】



亡くなられた10名の檀家の方々のため、生き残った私たちが形あるもので後世に伝えようと、亡き人を慕うという意味の「慕心」が刻まれた慰霊碑を建立しました。

市バス2系統「労災病院前」下車
労災病院の西側を北に歩き、四つ角を春日野墓地に沿って西へ、墓地の西側の道を北に真っすぐ突き当たれば歓喜院です。



10.熊内八幡神社【再建鳥居他】



南北の道路脇にある燈籠
幡神社になります。



震災によって倒壊した鳥居や玉垣などの復旧を記念して、境内には折れた鳥居と倒れた玉垣を利用した「震災の碑」が建立されています。

新幹線新神戸駅沿い東に歩き、新砂子橋を渡り北に歩いて行くと、東に2基の燈籠があります。その燈籠の道を歩いて行くと神社になります。

11. ハーブ園風の丘 【風・七彩】



神戸布引ロープウェイに乗り、風の丘芝生広場に向かいます。「風・七彩」の場所は風の丘芝生広場の東端にあります。

このモニュメントは彫刻家・野島二郎の作品で、幅1m・高さ2.5mの7枚のガラス板の先に、7色のステンレス板が波打つ。風にたなびくように鮮やかに輝いています。

「すべての人に夢や希望を感じてもらえたなら」と7色のステンレス板はさまざまなハードルを乗り越え未来に輝く“希望の風”を表しています。

12. 見晴らし展望台 【未来への手紙】

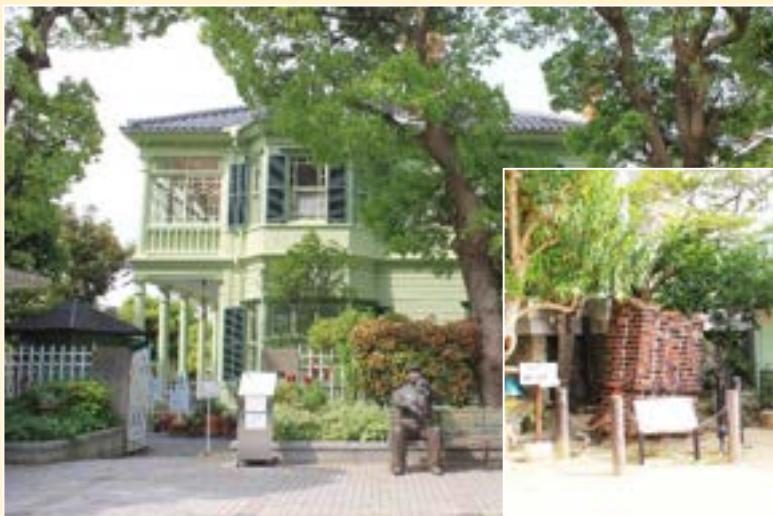


雄滝から少し登山道を登ると、右手に公園(見晴らし展望台)が見えます。

新幹線新神戸駅から布引登山道に入り、雄滝から少し登山道を登ると、右手に公園(見晴らし展望台)が見えます。

全面鏡のような四角形のモニュメントは、未来への手紙「美しき神戸のために」と書かれ、被災状況と共に、「…私たちはこの震災から得た体験を後世に伝えるため、多くの市民から寄せられたメッセージをここに収納しました」と書かれています。

13. 萌黄の館【落下した煙突】



萌黄の東側にある風見鶏の館と広場

震災によって、3本の煙突のうち一本はメード室に、東側の一本は粉々になりました。ここに展示している煙突は西側の煙突で、このような状態で突き刺さっていました。地震の恐ろしさを後世に伝えるために、当時の状態をそのまま保存しています。



歩き、天神坂を上がり北野通の東西道路を西側が萌黄の館です。その内所や風見鶏の館があります。その北野坂から北野通の東西道路を西側が萌黄の館です。

14. 一宮神社【再生と鎮魂モニュメント】



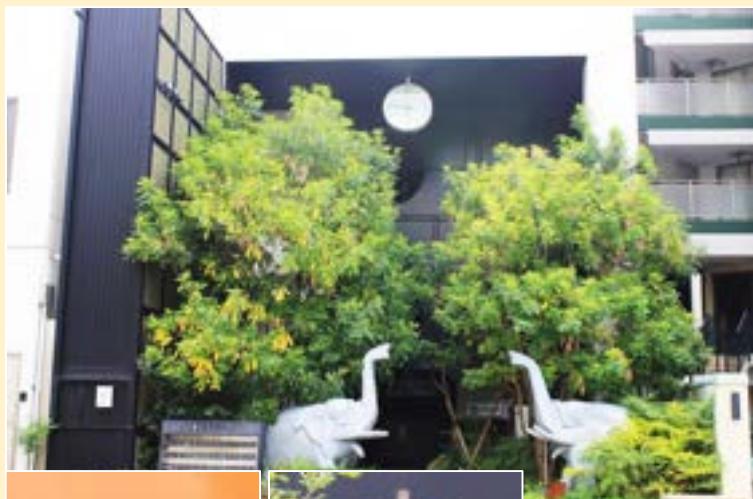
震災で倒壊した鳥居や玉石を復興再建した一宮神社ですが、境内には神戸芸術村に参加していた「マ・ガ・ラ氏」が、倒壊した玉垣だけを使って、ハンマーだけで3ヵ月かけてモニュメントを作り上げました。立札には「倒壊した鳥居・玉垣に再び命を吹き込む願いを込め」と書かれています。

上記以外にも、元社務所の鬼瓦や灯籠笠石の震災モニュメントがあります。



三ノ宮駅から北に歩き、加納町3丁目の交差点北西角からパールストリートを西に歩くと五差路となります。西に歩き2つ目の筋を北に歩くと一宮神社です。

15. ゾウビル 【5時46分の時計】



1995.1.17
AM 5:46



北野坂の東側の「ゾウビル」の天井部分に大きな時計が吊るされています。
銘板には「1995. 1. 17AM5:46 天井の時計は阪神淡路大震災で止まったままです」と書かれています。

三ノ宮駅から北野坂への南北道を歩いて行くと山手幹線に出合います。信号を渡りそのまま北側に少し歩いて行くと、東側にゾウが2頭いるモニュメントがあります。その天井部に時計があります。



16. 麒麟ビル 【5時46分の時計】



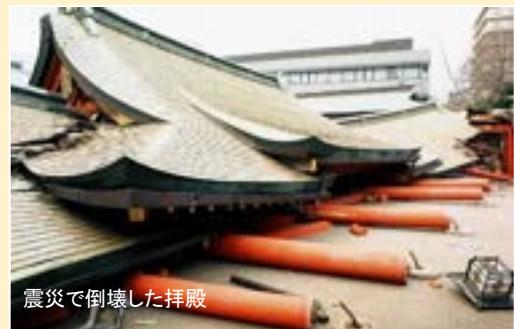
三ノ宮駅西口から東門筋へ、北の山手幹線まで歩き、北西角に麒麟ビルはあります。

三宮東門筋の北端、山手線に面した北西角に麒麟ビルがあります。北側のビルの入り口の2階に5時46分で止まった大時計がキリンのモニュメントと共にぶら下がっています。時計の上に「memorial」と書かれているので震災の時計と分かります。

17.生田神社【記念碑・歌碑】



当神社は震災で拝殿の柱が折れて倒壊するなど多くの建物が被害を受けました。震災復興記念碑は2000年に建てられ、碑には宮司が震災で被害を受けた時と再建された時に詠んだ歌が2首刻まれています。



18.阪急三宮北広場【ブロンズ像AMORE】

神戸阪急ビルの工事中のため、現在見ることができません。

19.神戸国際会館【KOBEキャンドル】



1999年5月に再建された神戸国際会館の屋上に設置された「KOBEキャンドル」は夜になれば見ることができます。

20.小野八幡神社【鳥居 胜れ神戸】



現在、社務所等の工事中で社殿以外は撤去されています。工事完了は令和3年になり、再建鳥居も復活するそうです。

21.三宮センター街【ブロンズ像】



【讀太陽】



【水のある星】



【花の少女】



【未来に行く者達へ】

「震災の悲しみを乗り越え、輝く街を造るための核に」と 地元が震災翌年から始めた「神戸アートストリート構想」の作品群があります。

・第一号は生田筋とセンター街が交わる四つ角にある。彫刻家桑原巨守氏の少女像「讀太陽」で、台座には犠牲者の名簿のフロッピーディスクと当日の新聞が納められています。



阪急三宮西口下車、馬場先の南北道路南に歩き、三宮センター街と出合う南北筋にあります。

22.みなとのもり公園【神戸震災復興記念公園】



しあわせ運べるように



以前は臨港線の神戸港駅（貨物駅）がありましたが、震災で廃止後、再開発されて「みなとのもり公園（神戸震災復興記念公園）」となりました。公園内には、被災した木々や石造物など震災に関する石碑などが集められた広場「語り継ぐ場」があります。



23.みなとのもり公園【大時計】



広場の一角に、「神戸港駅ゆかりのもの」として、安全の鐘と大時計・エンドレーレールのモニュメントが設置されています。大時計は震災の発生した「5時46分」を指しています。

被災した木

神戸ポートライナー貿易センター前
下車、南へ国道2号(高速道路)を
越えてすぐの所にあります。

24.東遊園地【園内の案内】 1



24. 東遊園地 【マリーナ像】 2



阪神淡路大震災によって倒れてしまった
「マリーナ像」

東遊園地にあるマリーナ像は震災によって倒壊してしまいましたが復元されました。
黄金の輝きを取り戻したマリーナ像が見つめる時
計は決してわざわざることのできないあの時刻
「5時46分」を指しています。

阪神大震災の記憶

Memories of Great Hanshin-Awaji Earthquake

平成7年1月17日 午前5時46分
5:46 a.m., January 17, 1995

阪神淡路大震災により、このマリーナ像は倒れ、その時時計が壊れました。
震災の記憶を永遠にとどめるために、この時計は、その時を示しています。
At 5:46, on the morning of January 17th, 1995, the Great Hanshin-Awaji Earthquake
caused this mermaid to collapse, and at that point, the clock was damaged. This clock
now indicates that time as an eternal reminder of the earthquake.

24. 東遊園地 【液状化段差の歩道】 3



東遊園地の東側フラワーロードの歩道の一部が液状化現象により沈下しました。
震災の記憶を忘れないため、液状化で石敷き歩道がグチャグチャになった箇所を、
アスファルトで簡単に補修されたままの状態で保存されています。

24. 東遊園地 【阪神淡路大震災の記憶】 4



場所は、東遊園地内の芝生広場の西側庭園内にあるシムの碑やモラエス像の南西角にあります。

【阪神淡路大震災の記憶】…東遊園地周辺は震度7の激震に見舞われ、大きく地盤が動きました。このトレリスも地盤に生じた約60cmの段差によって高さにズレが生じました。復旧に当たっては、震災時の激震による被害の大きさを記憶にとどめるために、その高さの違いを残しました。



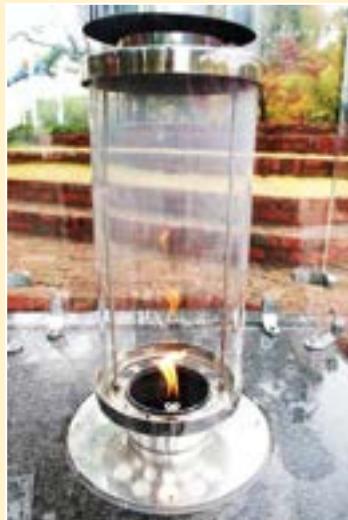
シムの碑

24. 東遊園地 【皇后陛下の御歌碑】 5



東遊園地「希望の灯り」の北側に当時の皇后美智子さまの歌碑が設置されています。この歌は神戸をご観察された記憶を平成18年の歌会始で詠まれたものです。「笑み交はしやがて涙のわきいづる 復興なりし 街を行きつつ」と詠まれています。

24. 東遊園地 【1.17希望の灯り】 6



ここに点されている灯りは、2000年1月17日午前5時46分、被災10市10町と全国47都道府県から届けていただいた種火を一つにして、「生きている証」として点灯しました。今では、全国で被災した様々な地域などに分灯されています。



24. 東遊園地 【慰靈と復興モニュメント】 7



慰靈と復興モニュメント「瞑想空間」は、阪神淡路大震災で亡くなられた方々の慰靈と、まちの復興を願って市民のみなさんの募金によって、2000年1月17日につくられました。地下空間には、亡くなられた方々のお名前を刻んだプレートが掲示され、多くの千羽鶴が奉納されています。

25.国道2号南歩道【被災橋脚他】



東遊園地から国道2号に架かる陸橋を渡り、国道2号の南歩道を西に歩いて行くと南側に見えます。

浜手バイパスの被災構造遺構で、被災の姿を後世に残すことを望む声や、防災意識の高揚に資するため、「RC橋脚」並びに「伸縮装置、支承」を保存しています。

26.メリケンパーク【震災メモリアルパーク】



中突堤「カモメリア」の
南側に「オリックススク
エール」をはじめ込んだ
壁があります。



メリケン波止場と中突堤の間を埋め立てて造られたメリケンパークは、震災で岸壁が崩れ大きな被害を被りましたが、後世への継承の意味を込めて「震災メモリアルパーク」として整備されました。エリアには、被災した岸壁をそのままの形で残した保存ゾーンと、震災前と震災時の神戸の姿を写真や動画で伝える復興ゾーンがあります。

27.元町商店街【メッセージ煉瓦】



震災で壊れた道を被災者へのメッセージを焼いたレンガで埋める「神戸レンガプロジェクト」で、神戸ゆかりの著名人も多く参加しました。レンガは元町商店街、南京町、ハーバーランド、メリケンパーク等に敷かれましたが、元町通商店街のレンガの傷みが激しく1番街は無くなり、2丁目は「何とか残したい」との強い要望から強度を強めたレンガに焼き直し「2代目」を新たに設置しました。

上記写真の場所は、元町通2丁目の南側の南京町への南北筋東から4本目の路地にあります。(つるてん生楽の筋)

28.相楽園ハッサム邸【落下煉瓦煙突】



大地震によって大きな被害を受けた「旧ハッサム邸」は、屋根上の煙突が床を突き抜け1階まで落下し北西の部屋が大破してしまいました。建物の修理に際し部屋から取り出しましたが、1996年に地震の激しさを後世に伝えるためこの場所で保存しています。

29. 本壽寺【震災物故者慰靈之碑】



震災時に住職は犠牲者の葬儀に奔走しました。そこで境内で倒壊した石塔で造られた「慰靈碑」を設置しました。

境内の石に檀家から寄せられた「とこいえに痛恨の日をわすれまじ」と記されています。



市バス「下山手7丁目バス停」下車、東へ歩き次の角を南へ1町歩くと四つ角の北西角が本壽寺です。

30.エレガリオ神戸【レンガの壁】



阪神西二元町駅下車、元町商店街から南に歩くと神戸中央郵便局に出会います。郵便局の東南北道を南に歩いたら次の四つ角の南西角にあります。

介護付有料老人ホーム「エレガリオ神戸」には復興の決意と被害を受けられた大勢の方々の安寧を祈願し、阪神・淡路大震災で倒壊した英國形式の煉瓦造りの倉庫外壁の一部を敷地内に移設設置しています。



31.湊小学校【沈下した手洗い場】

学校敷地内にあるため、入る際は必ず事前に学校の許可をもらってください。



32.大倉山公園【鹿児島県人会慰靈碑】



大倉山公園の鹿児島県の森の一角にある慰靈碑は、阪神淡路大震災で犠牲になった鹿児島県出身者204名の方々を追悼するため建立されました。

市営地下鉄大倉山駅下車、北へ歩き大倉山公園内の野球場とふるさとの森の接している付近が鹿児島県の森です。

33.教法寺【震災復興記念】



「本門佛立宗 教法寺」と書かれた石碑の裏に「阪神淡路大震災記念 平成8年4月建之 有志者」と書かれています。

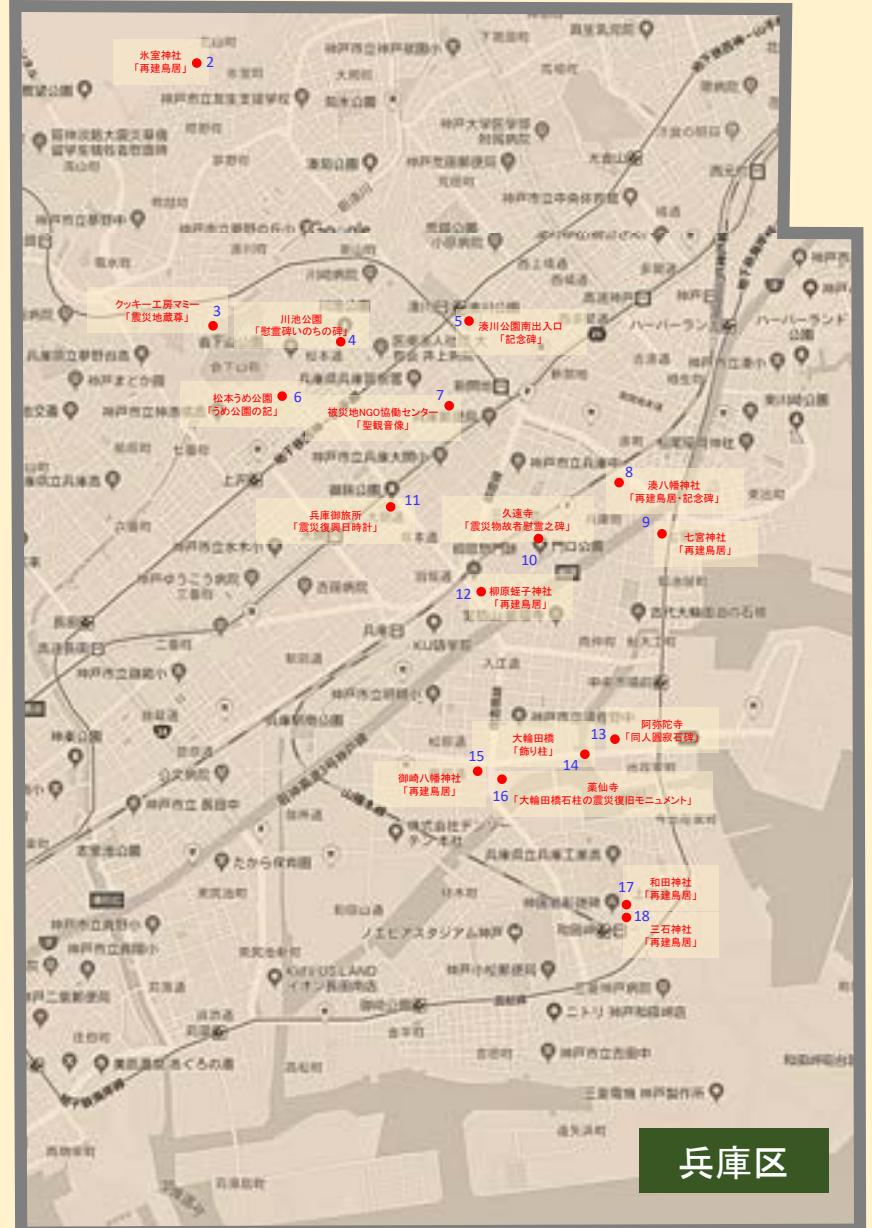


高速神戸駅下車、湊川神社の西角を北へ歩き、西門北の東西道を西に歩き、2つ目の筋を北に歩くと、西側に教法寺があります。

長田区震災慰靈碑マップ



兵庫区震災慰靈碑マップ



震災から25年 神戸市内の慰靈碑を訪ねて

▲学校敷地内のため立ち入る場合は事前に許可が必要です。

兵庫区の慰靈碑を訪ねて



震災25記念

01.五宮神社【慰靈碑】



市バス7系統「五宮町バス停留所」下車、東へ歩き次の信号角を北へ細い路地を歩いて行くと、北西角にあります。

震災により本殿が半壊、社務所が全壊したため1999年5月に再建、2000年1月に慰靈碑「あの日あのひとたちを忘れない」を建立しました。



02.氷室神社【再建鳥居】



氷室神社の裏にある氷室の洞窟



震災により神社の鳥居が倒壊したため、平成12年10月に再建されました。

市バス7系統「石井町バス停留所」下車、南の交差点を西にしばらく歩き、天理教本館分教会の角を北に歩いた曲がり角付近から左の細い路地を入ると鳥居が見えます。

03. クッキー工房マミー【震災地蔵尊】



市バス「菊水町10丁目バス停留所」下車、南へ曲がった道を南に会下山公園方面に歩いて行くと東側にクッキー工房マミーの建物が見えます。

「クッキー工房マミー」は小規模通所授産施設で震災で被災にあった「旧神戸母子寮」の跡地に建てられています。震災ではこの建物の下敷きになり職員1名・母親2名・子ども2名が亡くなりました。亡くなられた方を追悼するために、当時母子寮に住んでいた小学生2人が粘土をこねて「地蔵尊」を作り祠に納められました。

04. 川池公園【いのちの碑】



淡川公園西口から西へ、2つ目の信号のある交差点を北に歩いて行けば、左手に公園があります。碑き北側です。

阪神淡路大震災によって、会下山町・大井町・松本通・上沢通の川池地域で犠牲となられた百名の御靈を追悼するとともに「いのち」の尊さを後世に語り継ぐために、碑(いのちの碑)が建立されました。 平成16年12月12日建立

05.湊川公園【記念碑】



神戸タワー記念時計塔



場所は、湊川公園内の南西の芝生
の中になります。

湊川公園南西側にある碑は、「兵庫県南部地震10周年記念碑」として、神戸兵庫ライオンズクラブが建立したもので、作家の藤本義一氏が「ここにねむる
いのち　ここからはばたく」の題字を書いています。

06.松本うめ公園【うめ公園の記】



市営地下鉄上沢駅下車、上沢通7丁目交差
点を北へ歩き、一つ目の信号を越えて、次の
角を東に歩いて行き、西林寺の東となりが松
本うめ公園です。

地域の人達は、この苦難の中
から立ち上がり、復興する公園や
道路の計画は、住民側から提案し
決めたものです。

松本うめ公園は、震災を忘ることなく、安全で安心して、みんなが仲良く暮らすことを願い、みどりの芝生と梅の木をシンボルとして造られています。「うめ公園」の名前は、学問の神様として
知られる京都北野天満宮から、震
災からの一日も早い復興と子供達
の良き成長を願って、贈られた一
対の紅梅し白梅を植えたことから
名付けられました。

平成15年5月24日

松本うめ公園育成会
松本地区まちづくり協議会

07.被災地NGO協働センター【聖観音像】



高速新開地駅下車、西出口から北へ歩き一つ目の信号(北西角にローソン)を西へ歩き、水木湯の所から北に少し歩いた東側にあります。聖観音像は中庭にありますが、表に看板も出ており誰でも自由に参拝できます

観音像は震災直後からこのNGOを通じて支援活動していた「真言宗豊山派仏教青年会」の有志が震災の全犠牲者や仮設住宅で孤独死した人、ボランティア活動に携わった物故者らを祭るため建立されました。台座の碑文には「震災の体験を風化させること無く、大きな教訓を生かし、希望に満ちた世界が具現されることを願う」と刻まれています。

08.湊八幡神社【再建鳥居・記念碑】



震災により鳥居、玉垣、灯籠、石造りのものは壊滅な被害に遭いました。

平成12年9月に、すべてが再建され、境内に再建の記念碑が建立されました。



JR神戸駅下車、阪神高速道路に沿って西に歩き、七宮の信号を北(湊町線)歩くと、JR高架の手前西側にあります。記念碑は鳥居を入った右手にあります。

09. 七宮神社 【再建鳥居】



震災により社務所は全壊し、鳥居、灯籠なども倒壊しました。平成13年7月にすべてが再建され、竣工記念として記念碑が建立されました。記念碑には「平成7年1月17日阪神淡路大震災により、多大な被害を被つたが、この地に再建す」と記されています。



JR神戸駅下車、阪神高速道路に沿って西に歩き、七宮神社前交差点の南西角にあります。

10. 久遠寺 【震災物故者慰靈之碑】



震災により周辺地域で25名の方々が亡くなられました。この碑はその亡くなられた方を弔うため久遠寺で建立しました。



JR兵庫駅下車、線路に沿って南側の道路を東に歩き、交差点南東角の柳原蛭子神社の間にある南東への道を歩き、高速道路手前で北東への道を歩くと門口公園に出合います。公園の北側に久遠寺はあります。

11. 兵庫御旅所【震災復興日時計】



生田神社兵庫宮の社務所が全壊したため、社務所を再建した際の復興記念として日時計が設置されました。この日時計は日常の時間を刻むと共に、朱色の線が震災発生時刻を伝えています。

JR兵庫駅下車、駅前通りを北へ歩き、高速大開駅の道路を東に2町歩くと南に御旅公園があります。

12. 柳原蛭子神社【再建鳥居】



震災により御社殿は全壊し、鳥居も倒壊しましたが、御社殿の造営を記念し、平成23年12月に再建されました。

JR兵庫駅下車、線路に沿って南側の道路を東に歩くと交差点の南東角が神社です。

13.阿弥陀寺【同人圓寂石碑】



境内には「同人圓寂」と書かれた、仏教の教えが刻まれた碑が建っています。碑には震災の文字はありませんが、震災の犠牲者の慰靈のために全国寺庭婦人会が1996年1月に建立しました。

地下鉄海岸線中央市場前駅下車、高松線を南に歩き、中の島交差点を西に少し歩くと北側に阿弥陀寺があります。



14.大輪田橋【飾り柱モニュメント】



モニュメント
戦災と震災の冬の星座4面があしらった

大輪田橋の3本の飾り柱が倒壊したため、多くの飾り柱は薬仙寺に保管し、損傷の少ない1本の飾り柱に、震災と戦災のあった冬の星座4面をあしらったモニュメントとして修復しました。

地下鉄海岸線中央市場前駅下車、高松線を南に歩き、中の島交差点を西に少し歩くと大輪田橋です。



15.御崎八幡神社【再建鳥居】



震災で倒壊した鳥居を再建し、被災した鳥居の一部でつくれられた記念碑に「未曾有の大震を後世に残すが如きに建立す」と刻まれます。



地下鉄海岸線中央市場前駅下車、高松線を南に歩き、中の島交差点を西に大輪田橋を渡り、清盛橋を渡った西側にあります。

16.薬仙寺【大輪田橋飾り柱モニュメント】



大輪田橋「飾り柱の台座」モニュメント

大輪田橋の3本の飾り柱が倒壊したため、多くの飾り柱は、薬仙寺で戦災と震災を経験した「生き証人」として、鎮魂の意を示すモニュメントとして保存されています。



地下鉄海岸線中央市場前駅下車、高松線を南に歩き、中の島交差点を西に大輪田橋を渡り、清盛橋を渡った東側にあります。

17.和田神社【再建鳥居】



関西で最大という石の鳥居(約10m)が倒壊し、地元企業の寄進によって鋼鉄製の鳥居(約11.5m)が再建されました。元の鳥居の社号は境内の宮比社横に展示されています。



地下鉄海岸線和田岬駅下車、北側にあります。

18.三石神社【再建鳥居】



震災では鳥居の下側の横軸「貫」が落ち、上側の横軸「笠」がくの字に曲がってしまいました。氏子の寄進により「貫」だけを新調し、震災を後世に伝えるためにと「貫」の神社側に「復興奉納」の文字が刻まれています。



地下鉄海岸線和田岬駅下車、北出口から北へ歩きくと西側にあります。

長田区の慰霊碑を訪ねて

01. 神阪中華義荘 【犠牲者慰霊碑】



震災25記念



神鉄長田駅下車、南側の線路沿いを西へ2つ目の信号まで歩き、踏切を渡つて北東に歩いて行くと左手にあります。

震災により留学生たちを含む48名が亡くなり、この鎮魂のために建立されました。周辺には亡くなつた方48名と同数の桜が、歌手のしらいみちよさんの寄贈で植えられています。この感謝の気持ちとして、慰霊碑の脇にアズキ色の碑を建て、「永遠に変わらぬ中日友好の証として今後も成長を見守ります」と刻まれています。

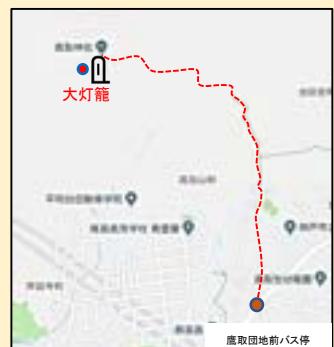
02. 高取山 【復興大灯籠】



震災で倒壊しましたが、年にあたる平成13年に、協力で再建できました。あります。同時に再建した神馬像にも震災の記録が刻まれています。



震災によって倒壊し、再建された神馬



市バス鷹取団地前バス停下車、高取山頂への登山道を登り、高取神社へ、神社から南西方向を望むと、大灯籠が見えます。

03.大丸山公園【被災木の移植】



神鉄長田駅下車、南へ歩き山麓線を西に歩きます。南に名倉小学校が見えるので、西側の道を南に歩くと丸山中学校が見えます。公園はその南側にあります。

震災の火災によって、新長田公園の樹木も猛火で多くが傷つきました。公園周辺が復興再開発事業で無くなるため生き残った樹木の内、整備中であった「大丸山公園」にシラカシとケヤキの2本が移植されました。

04.神戸常盤女子高校【震災之碑】

震災之碑は学校敷地内にあるため、入る際は必ず事前に学校の許可をもらってください。



05.新湊川筋【慰靈碑】



慰靈碑の手前にある源平勇士の碑



高速長田・市営地下鉄長田駅下車、広い道路を西に歩くと新湊川に出会います。川の東側に沿って少し北に歩くとあります。

この碑は長田区老人クラブ連合会が2000年1月に建立したもので、「わたしたちはあなたたちも震災も忘れない」との思いから建立されたもので、裏側には同会の震災で犠牲になった方たち154名の名前が記されています。

06.長田神社馬場先口【折れた鳥居】



長田駅下車、広い道路を西に歩くと新湊川に出会い、川を渡つて少し歩くと馬場先口に出合歩くと馬場先口に出会い、鳥居が見えます。

この馬場先鳥居は江戸時代に建立されたもので、震災で根元部分から折れました。折れた根元部分はモニュメントとして保存し、鳥居の横に石碑を建て「地震を忘れず震災を忘れず復興まちづくりを進めようと祈念しここに倒壊した旧鳥居の一部を存置しまちの記憶とする」と記されています。

07.御蔵北公園【鎮魂モニュメント・被災電信柱】



高速長田・市営地下鉄長田駅下車、広い道路を南に歩き、長田北町交差点を西に歩き、一筋目を南に歩くと東角にあります。

震災復興で整備された公園には、焼けた電信柱が「生き証人」として保存され、近くには「鎮魂」と書かれた慰靈碑があります。慰靈碑は下に犠牲者の位牌などを入れたカプセルが埋め込まれ、中央には、亡くなった場所の地域周辺地図が刻まれています。

08.みくらすいせん公園【希望の石碑】



高速長田駅下車、南北道路を南へ歩き、2つ目の信号を東に歩いていくと、御蔵小学校があります。その南にあります。

震災で大きな被害を受けた当地域は、復興の新しい街の中に公園が完成しました。御菅3.4地区復興対策協議会では、御蔵小学校の5.6年生に絵を描いてもらい、子供たちへ「希望」という文字を贈りました。

09.すがわらすいせん公園【哀悼と希望のレリーフ・写真パネル】



菅原地域の震災前の写真パネル



高速長田・市営地下鉄長田駅下車、広い道路を南に歩き、3つ目の信号のある交差点を東に歩き、一筋目の四つ角を南に歩くあります。

震災復興で整備された公園には、当時の美智子妃殿下が供えた水仙の哀悼と希望のレリーフ・震災前の地域を語る写真パネル・映画「寅さん」のロケが行われた「写真プロジェクト」などが設置されています。

10.御蔵南公園【震災で焼けた楠木】

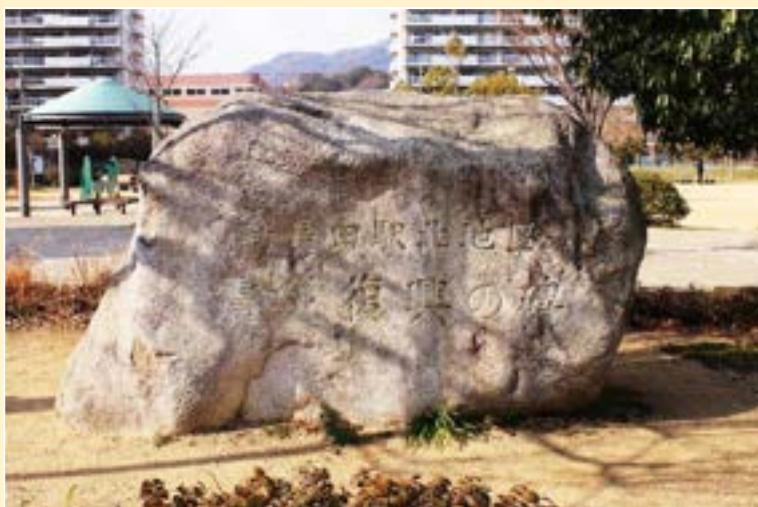


この楠木は震災による火災の類焼を止めたとして、今も火災による傷跡を残しています。プレートには「類焼を止めて なお生き残る 楠の大木（御菅カルタ）」と書かれています。



高速長田・市営地下鉄長田駅下車、広い道路を南に歩き、北町交差点を西に歩き、御蔵北公園を東に見ながら、歩いて行くと南西角にあります。

11.水笠通公園【復興の碑他】



新長田駅下車、東の南北筋を北へ靴の足型を見ながら歩いて行くと北東角が公園です。

震災で大きな被害を受けた新長田北地区は、震災復興地区画整理によって復興を果たしました。その記念として「震災復興の碑」を建立しました。そしてこの公園はかつて水笠通2丁目で多くの人々が暮らしていましたが、在りし日の地域の姿を残そうと「水笠通2丁目の碑」を建立し、当時の2丁目地図を記しています。

12. 西代寺 【供養碑】



「為阪神淡路大震災物故者靈 南無大師遍照金剛」供養碑

震災で本堂や庫裡が倒壊し多大な被害を受けましたが、復興土地区画整理事業によって再建されました。その際に震災犠牲者を弔う供養碑が建立されました。



新長田駅下車、東の南北筋を東へ歩き、次の角を北へ歩くとショーカー通りにあります。その南側にあります。その

13. シューズプラザ 【ヒールモニュメント】



新長田北地区はケミカルシューズの街と云われていましたが震災によって大きな被害を受けました。シューズプラザは、2000年に地域のシンボルとして「くつのまち」の復活と活性化を目的として開設しました。周辺の歩道には、マラソン選手・サッカー選手などの足型が埋め込まれています。



新長田駅下車、駅中央の南北道を北へ、川の流れの四つ角を東に歩くと北側にあります。

14. 明照寺跡【諸精霊の石碑】



当寺は震災で被災し取り壊され隣接地に再建されました。その跡地に「皆さんのやすらぎの場になれば」と住職が「阪神淡路大震災物故者諸精霊」の碑を建立しました。



高速西代駅下車、西へ歩きライフ西代店西側の交差点を北へ歩いて行くと、西側に空き地があり、祠や石碑が建ち並んでいます。

15. JR新長田駅【寅地蔵・こうのとりタイル】



JR西日本応援団が被災地に元気をと「元気HAKOBE こうのとり」運動で、イラストを募集しそのハガキをタイルにしたもので、上りホームに約900点・下りホームに約500点飾られています。

映画「男はつらいよ寅次郎紅の花」の新長田ロケを記念して「寅地蔵」を新長田駅の改札前の構内に設置したもので、開眼は渥美清さんの命日である1998年8月4日です。

16. フレールアスタ若松【明日へわがまちの碑板】



新長田駅下車、南広場から中央の南北道の一筋目を東に歩き、三叉路の南側路地にあります。

この碑は、多くの犠牲の上に新しい町ができたことを忘れない」という思いをこめて第1期再開発ビルの完成にあわせ設置したもので台座には同じ地区にあった市場の防火壁「神戸の壁」の一部が使われています。「碑文には私たちのまちの発展と子孫の繁栄を祈願します」と記されています。

17. 新長田公園【震災から10年の碑】



この公園は復興市街地再開発事業により、地域住民の集いの場として2004年10月完成しました。この完成を記念してタイムカプセルを内蔵した碑を設置し、2025年に開封される予定です。



新長田駅下車、南広場から中央の南北道の2筋目の南東角にあります。

18. 鉄人広場【鉄人28号】



新長田駅下車、西側にあるジョイ
ぱ鉄人広場です。され



2009年10月に神戸出身の漫画家で新長田にゆかりの深い横山光輝（よこやまみつてる）さんの作品の魅力でまちを盛り上げようと、地元商店街などが中心となってNPO法人KOBIE鉄人プロジェクトを立ち上げ、震災復興と地域活性化のシンボルとしての期待を託して作られたものです。

19. 国道2号地下通路【神戸デパート礎石】



新長田駅下車、新長田一番
街と大正筋商店街に通じる
地下道の南東の地下道入口
を降りた壁面にあります。

震災によって神戸デパートは大きな被害を受け、再開発事業によって「アスタクにづか一番館」として生まれ変わりましたが、神戸デパートが完成した昭和40年の礎石は保管され、地下通路の改装を機に壁面に展示されています。

20.国道地下通路【壁のギャラリー】



戦災並びに震災でも生き残った長田区若松町3にあった公設市場の防火壁で、震災後「神戸の壁」として、淡路の北淡震災記念公園に設置された際に、残された基礎部分を「神戸の壁のベンチ」として、1台は人と防災未来センター敷地内と、2台は新長田地下通路の壁のギャラリーに設置されています。



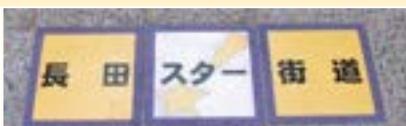
地下通路から神戸の壁に入るギャラリーの入り口



新長田駅下車、新長田一番街と大正筋商店街に通じる地下街の南側あります。

地下通路は、2019年7月にリニューアルオープンしました。「WALL GALLERY (壁のギャラリー)」の名称で、西神戸地域の過去・現在・未来へのストーリーで写真が展示され、その前に2連式と一連式の神戸の壁ベンチが設置されています。

21. 大正筋商店街【長田スター街道】



平成17年10月29日、大正筋商店街に商店街復興を支援したプロ野球オリックス・バファローズの仰木彬前監督ら著名人80人の手形やメッセージを陶板に焼き付け、路面に埋め込んだ「長田スター街道」が完成しました。

新長田駅下車、新長田一番街から国道2号を渡ると大正筋商店街で、通路にはめ込んでいます。

22. ふたば学舎【煉瓦モニュメント】



学校内はレンガ造の焼却炉がつぶれただけでしたが、周辺は甚大な被害を受けました。同校の先生がこのレンガを使い「震災の象徴として残したい」と思い、子どもたちがモニュメント製作委員会をつくり、「平和・安定」をイメージしたオブジェを載せて完成了。碑には「やさしさわすれない」というメッセージがそえられています。

23. 海泉禅寺【大震災慰靈之碑】



再建された本堂

地下鉄海岸線駒ヶ林駅
に2町歩くと北西角に
あります。

震災によって本堂などが大きな被害を受けましたが、平成28年4月18日に鐘楼を除き再建されたのを機に、旧本堂大棟の鬼瓦を埋め込んだ「大震災慰靈之碑」を建立しました。

24.駒林神社【再建鳥居】



神社の鳥居が震災によって倒壊したため、平成25年10月2日、伊勢神宮式年遷宮の年に、地元自治連合会によって再建されました。



地下鉄海岸線駒ヶ林駅
に2町歩き、2つ目の信号を南に渡り、少し南に歩き西へ

25.駒ヶ林蛭子神社【再建鳥居】



神社は震災により鳥居、玉垣が倒壊し、1996年4月に再建されたのを機に、倒壊した鳥居の石を彫刻した記念碑を設置しました。



地下鉄海岸線駒ヶ林駅下車、アグロガーデンの西筋を南に歩き、三叉路を西に歩いて行くと、南に駒ヶ林漁業市場があり、その先の北側にあります。

倒壊した鳥居の記念碑

26.日吉ポケットパーク【あわせの地蔵】



JR鷹取駅下車、線路沿いに東に歩き、日吉町5丁目に交差点手前の道を南へ歩き、角を東へ歩くと南西角



「仏教ボランティア大阪」の住職たちが木彫りの「あわせ地蔵」とお堂を建立。地元の地蔵と共に安置されました。台座には焼け跡から出た遺品が納められ、内部の名札には周辺の犠牲者名と寄進者名が書かれています。

27.日吉町ひだまり公園【「刻」の石碑】



JR鷹取駅下車、線路沿いに東に歩き、最初の信号のある交差点を南へ歩き、一筋目を東へ歩くと南西角にあります。



日吉町6丁目も震災による火災の発生で多くの犠牲者がを出しましたが、鷹取東地区の震災復興区画整理事業によって復興し、新しく完成したポケットパークに「刻1995.4.17」の石碑を建立しました。

28.若松鷹取公園【鎮魂モニュメント】



鷹取東第一地区震災復興土地
整理完成の碑

JR鷹取駅下車、線路
沿いに東に歩き、日吉
町5丁目交差点手前
の道を南5筋ほど歩い
た北西角



慰靈碑は「寄り添う二人を合掌で祈る」というイメージで、平成13年2月25日に建立されました。碑には「忘れることができないあの日あのとき、忘れて行けないあの人。すべてを焼かれ、すべてを無くし、尊い人命を失った1月17日…以下略」と書かれています。

29.満福寺【慰靈碑】



JR鷹取駅下車、南に国道2号まで歩き、北側の歩道を東に、野田町4丁目の信号まで歩くと北西角にあります。



寺は本堂が傾いたり、石垣や寺名の石柱・鐘楼等が倒壊しましたが、修復再建しました。しかし周辺の住民の多くが犠牲になったため、「阪神・淡路大震災慰靈之碑」を建立しました。 *現在境内に入ることができます。

30. 海運双子池公園【「潤」石碑・手形】



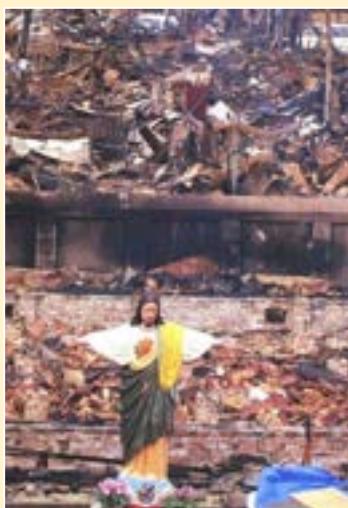
この公園にはやすらぎと潤いがあるまちづくりの拠点としての「潤」と刻まれた碑と、1995年生まれの子どもたちや地区に縁のある人たちの手形がモニュメントとして残されています。

1995年生まれのこの地域で育った子供手形



JR鷹取駅下車、広場を南に歩き、一筋目の四つ角を東に歩くと正面に大國公園見えます。公園の南側の道を東に歩き、一筋目を南に行くとあります。

31. 鷹取教会【キリスト像】



鷹取教会

両手を広げたキリスト像は教会の大半が震災で焼失した中で残り、全国から集まったボランティアの中核拠点となった鷹取教会を見つめ、現在も震災復興後の活動を見守っています。



JR鷹取駅下車、広場を南に歩き、一筋目の四つ角を東に歩くと大國公園に出合います。公園中央から南へ歩くと東側に見えます。

32. 大国公園【復興基準点・鳥居地蔵】1



国土地理院が定めた復興事業の基準点と、震災で倒壊した六甲八幡神社の鳥居を、仏師岡倉氏の手によって魂を入れ安置されています。裏には「開拓心地」と刻まれています。

JR鷹取駅下車、広場を南に歩くと正面に見えます。



33. 大国公園【焼けた照明灯・車止め】2



公園内には、コミュニティ道路の焼け焦げた街灯と車止めの震災遺構と、震災直後の街の様子をプレートにしたモニュメント、そして震災時に東から迫る炎を食い止めた楠木も元気に育っています。



須磨区震災慰靈碑マップ



▲ 学校敷地内のため立ち入る場合は事前に許可が必要です。

震災から25年 神戸市内の慰靈碑を訪ねて

須磨区の慰霊碑を訪ねて



01.信行寺【全犠牲者の碑】



市営地下鉄板宿駅下車、南出口2番を出て南へ歩き、一筋目の信号を東へ2筋ほど歩くと北側にあります。

当寺は震災により全焼しましたが、1999年10月に再建された際、復興記念碑が建てられました。碑は黒御影石で、手を合わせた形をイメージし、「涙を越えて 阪神淡路大震災犠牲者之碑」の文字と犠牲になった檀家の名前が刻まれています。

02.千歳公園【千歳復興の礎】



新長田駅下車、線路沿いを西に大通りまで歩き、線路高架から北へ歩いていくと南西角にあります。

この碑は「礎」刻まれ、「震災から苦労して復興を成し遂げ、今後はみんなが助け合い、協力し合いながら明るく暮らし、次世代へ継承を行う」と記されています。中央の「メタセコイア」「コンクリートの基礎」北側の「クスノキ」はこの地にあった旧千歳小学校の記憶として残されています。

03.震災の記憶を伝える美容院【時計】



市営地下鉄・山陽電鉄板宿駅下車、板宿商店街南交差点を西に歩き、平田南橋交差点の橋を渡って1筋目の三差路を北に歩くと西側にあります。

震災時からのプレハブの美容院があります。店前の鉄塔に取り付けられている看板の一番上に、震災時に止まったままの時計が取り付けられており、当時の記憶をよみがえらせています。

04.太田中学校【追悼の碑】

追悼の碑は学校敷地内にあるため、入る際は必ず事前に学校の許可をもらってください。

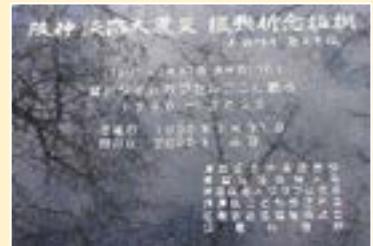


05.飛松中学校【希望の塔】

希望の塔は学校敷地内にあるため、入る際は必ず事前に学校の許可をもらってください。



06.下中島公園【桜植樹・タイムカプセル】



JR鷹取駅下車、北側の線路沿いを西に歩き、妙法寺川を越えた須磨体育館の東側にあります。(須磨海浜公園からも)

区役所主催の震災1周年事業として、桜の植樹と共に、犠牲になった子供たちの名簿、老人クラブの手記、マスコミの震災記録などが納められたタイムカプセルが埋設されています。石版の記念碑には「震災タイムカプセルここに眠る」開封日2025年吉日

07.妙法寺左岸公園【震災記録案内板】



神戸市営地下鉄のレールと車輪のモニュメント



震災記録案内板



JR鷹取駅下車、北側の線路沿いを西に歩き、妙法寺川の手前北側にあります。

この公園一帯は、震災前まで旧JR鷹取工場の一部で、震災後移転し跡地は「復興土地区画整理事業」が行われ、その一部に公園が造されました。この震災記録案内板には、JR鷹取工場の変遷や震災後の被害や活動と共に、当時の状況写真などが掲示されています。

08.衣掛公園【二宮金二郎碑】



何故?「金二郎」



阪神高速道路高架下の衣掛公園内にある「復興二宮金二郎像」は、1998年3月に南須磨自治連合会が復興を祈念して建立したものですが、何故「金次郎」が「金二郎」になっているのかは不明です。

JR須磨海浜公園駅下車、南側の線路沿いを東に歩き、妙法寺側の西側を南に公園沿いを歩いて行くと、若宮小学校の手前川沿いにあります。

09.須磨海浜公園【被災した橋脚】



山陽電鉄西代跨線橋のコンクリート製橋脚

阪神高速3号神戸線兵庫運河を跨いでいた鋼製橋脚

山陽電鉄西代跨線橋のコンクリート製橋脚と、阪神高速3号神戸線兵庫運河を跨いでいた鋼製橋脚で、「震災から得た教訓を明日のまちづくりに生かす」ため、モニュメントとして設置しています。



10. 綱敷天満宮【再建鳥居】



西側の再建鳥居



当神社は、震災で社務所・西の鳥居、社号標柱、境内石造物が倒壊しました。平成21年4月に再建され、その復興を記念して「震災復興寄付者御芳名」の碑が建立されました。

JR須磨駅下車、北側の国道2号を東に歩き、天神橋高架の手前北の側道歩くと北側に見えます。

11. 現光寺【復興記念門柱】



JR須磨駅下車、北側の国道2号を東に歩き、千森筋を北へ山陽高架を越えて東側にあります。

当寺は震災で大破、瓦礫の中から御本尊の阿弥陀如来像を掘り起こし、8年の歳月をかけて本堂など全面復興し、その復興再建を記念して「復興記念門柱」を建てました。

12.須磨寺商店街【三人童像】



須磨寺商店街の北入り口の「お大師広場」に三人童像「なかよし」があります。この像は須磨寺と福岡「南蔵院」の協力を得て、福岡の仏師からの寄贈で、台座には「助け合うことの美しさ 人の優しさ 暖かさを知りました」と刻まれています。



山陽須磨寺駅下車、須磨寺商店街を須磨寺方面に歩き、須磨靈泉のある交差点の手前に「お大師広場」があります。

13.正覚寺【引き取られた地蔵】



須磨寺の塔頭「正覚院」の境内に震災被害を受けお守りが困難になった地蔵尊が祀られています。地蔵尊のそばには「神戸震災地蔵尊にお花をお供えください」と記されています。



山陽須磨寺駅下車、須磨寺商店街から須磨寺参道を歩き、仁王門の手前かにあります。

14.須磨寺【震災物故者追悼碑】

須磨寺は、山号を上野山で正式な寺名は「福祥寺」です。当寺一帯は、源平一の谷合戦の戦場であったため、平敦盛「青葉の笛」・弁慶の鐘・敦盛首塚・義経腰掛の松など、源平の史跡が多く残されています。

当寺は古くから「須磨のお大師さん」で親しまれ、毎月20日・21日には多くの参拝客でにぎわいます。



龍華橋



仁王門



本堂



平敦盛と熊谷直実



須磨寺の龍華橋を渡り仁王門をくぐった右手に「阪神淡路大震災物故者追悼碑」と書かれた碑があります。碑は「全日本佛教会」が創立40周年として建立したもので、追悼碑の横に建てられた「記録誌碑」には、「釈尊の『常あるものなし』の教えが、現代に於ても真実であることを見知らされたのである。この悲しみ、この苦しみを風化させてはいけない」と書かれています。

山陽須磨寺駅下車、須磨寺商店街から須磨寺参道を歩き、仁王門に入った右手にあります。

15.みどりの塔【落下した地球儀】



みどりの塔は、昭和29年に天皇陛下の植樹祭を記念して建立されましたが、震災によって西側にあった地球儀が落下してしまいました。震災の記憶を忘れないようにと、落下した地球儀をモニュメントとして残しました。



JR須磨駅下車、国道2号線を西へ歩き、バス停のある須磨一ノ谷プラザから須磨浦公園に入り、少し西へ歩いたところにあります。

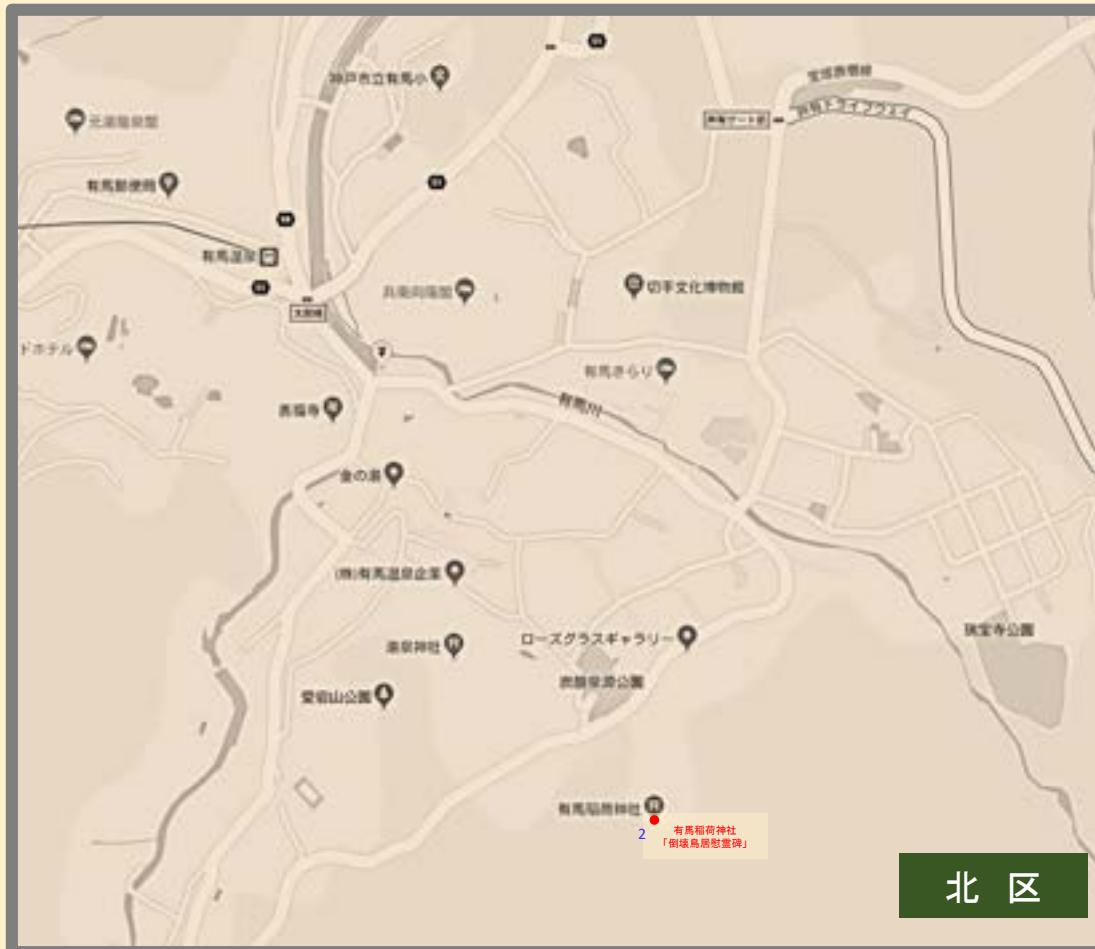
16.北落合2-2-1【南天やすらぎ地蔵】



地下鉄名谷駅下車、北側の名谷駅北交差点から東に歩き、一筋目の交差点から、落合中央公園東側を北に沿って歩いて行くと、公園の北端を越えたところにあります。

旧カフェレストラン「陣」の入り口に地蔵尊があります。この地蔵尊は震災地の土を混ぜて作られた「やすらぎ地蔵尊」で、当時のレストランオーナーが「地域のきずな作り」にと祠を設けました。

北区震災慰靈碑マップ



震災から25年 神戸市内の慰靈碑を訪ねて

北区の慰靈碑を訪ねて



01.金剛寺「山田靈園」【慰靈之碑】



山田慈光観音



市バス11系統の神戸電鉄箕谷駅発に
乗り、坂本バス停留所下車、木津方面
の道を歩くと、山田靈園の入り口があり
ます。



02.有馬稻荷神社【倒壊鳥居慰靈碑】



震災で神社の鳥居半分が崩れ数十メートル下まで
滑り落ちました。残った半分を「メモリアルアーチ」として参道脇に設置されています。



神鉄有馬温泉駅下車、有馬川沿
いに歩き、杖捨橋の分岐から右
手に迂回しながら六甲有馬口一
ブウェイの有馬温泉駅方面に歩い
て行くと、左手にあります。

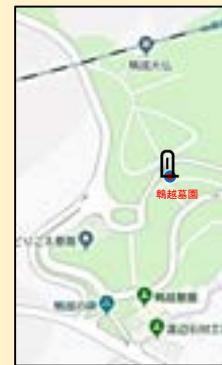


03.鶴越墓園【やすらぎ地蔵】



墓園入口から北へ歩き、バローーターの場所から東に少し歩くと道路沿いにあります。

1996年1月に、阪神淡路大震災の物故者を追福するために、市民の有志が建立したもので、当初は16から17区画の間に建てられていましたが、現在は鶴越大仏の南側の道路際に移設されています。



04.鶴越墓園【無縁慰靈碑】



とべら地区の無縁慰靈碑は、身元不明の方々を安置しており、平成11年1月17日に建立されました。慰靈碑の横には、9体の壺が安置、発見場所等の記録閲覧、年に一度の供養の看板が立てられています。

墓園入口から北へ歩き、水無池のある分岐から東側の道路を歩いて、「5」とべらバス停まで(バスは(5)とべらバス停)

05.六甲最高峰【幻の慰靈碑】



六甲山最高峰



設置されていた場所



兵庫県勤労者山岳連盟
所蔵写真



抜かれた後の穴

平成2016年春に、兵庫県勤労山岳者連盟と東北の連盟と友好の証しとして「阪神淡路
・東日本大震災 鎮魂・復興祈願」のモニュメントを設置していました。2017年5月に
ペンキで黒塗りにされる被害があったことから、2018年に宮城県の連盟から、同型のモ
ニュメントの寄贈を受け再設置していましたが、2019年1月に、今度は慰靈碑そのもの
が抜かれてなくなってしまいました。

2019年9月現在、慰靈碑はなく、抜かれた穴だけ草木に隠れるように残っています。

垂水区震災慰靈碑マップ



垂水区

震災から25年 神戸市内の慰霊碑を訪ねて

垂水区の慰靈碑を訪ねて



01. 安養寺【大震災復興記念碑】



安養寺の社号碑と本堂の鬼瓦

震災では本堂、鐘楼堂、庫院が全壊しました。
記念碑は平成10年春に「復興の歴史を刻む」ため、
寺の参道脇に被災した本堂の鬼瓦と共に建立されました。



JR塩屋駅下車、北側の
線路沿いを西へ、塩屋谷
川を渡り、四つ角を真っ
すぐ線路沿いに歩き、三
叉路を北に行くと塩屋
の右側
若宮神社があります。そ
の右手が安養寺です。

02. 美山台3-6-10【万物流転】



猪口氏による石垣オブジェ
「万物流転」の説明書き



垂水東口発57系統に乗って、
美山台バス停留所下車、西へ
3本目の角を北へ歩き、2筋
目にあります。

家のセラミックアーティストの猪口氏が平成16年1月17日に制作、震災でゆがんだ消火栓のバルブ、割れた瓦、さまざまな陶器、など約500個もの「物」たちが石垣面を流れています。

03.舞子墓園【平和観音像】



平和観音像の脇にある「奉安趣意書」



垂水駅前発8系統で舞子墓園前バス停下車、入口の管理事務所の手前にあります。

舞子墓園の入り口の立つ平和観音像は、震災犠牲者の慰靈のため、神戸市民有志が寄贈したもので、「物故諸靈を追悼し、その冥福を祈り奉る」ために建立したと書かれています。

04.多聞六神社【復興記念碑】



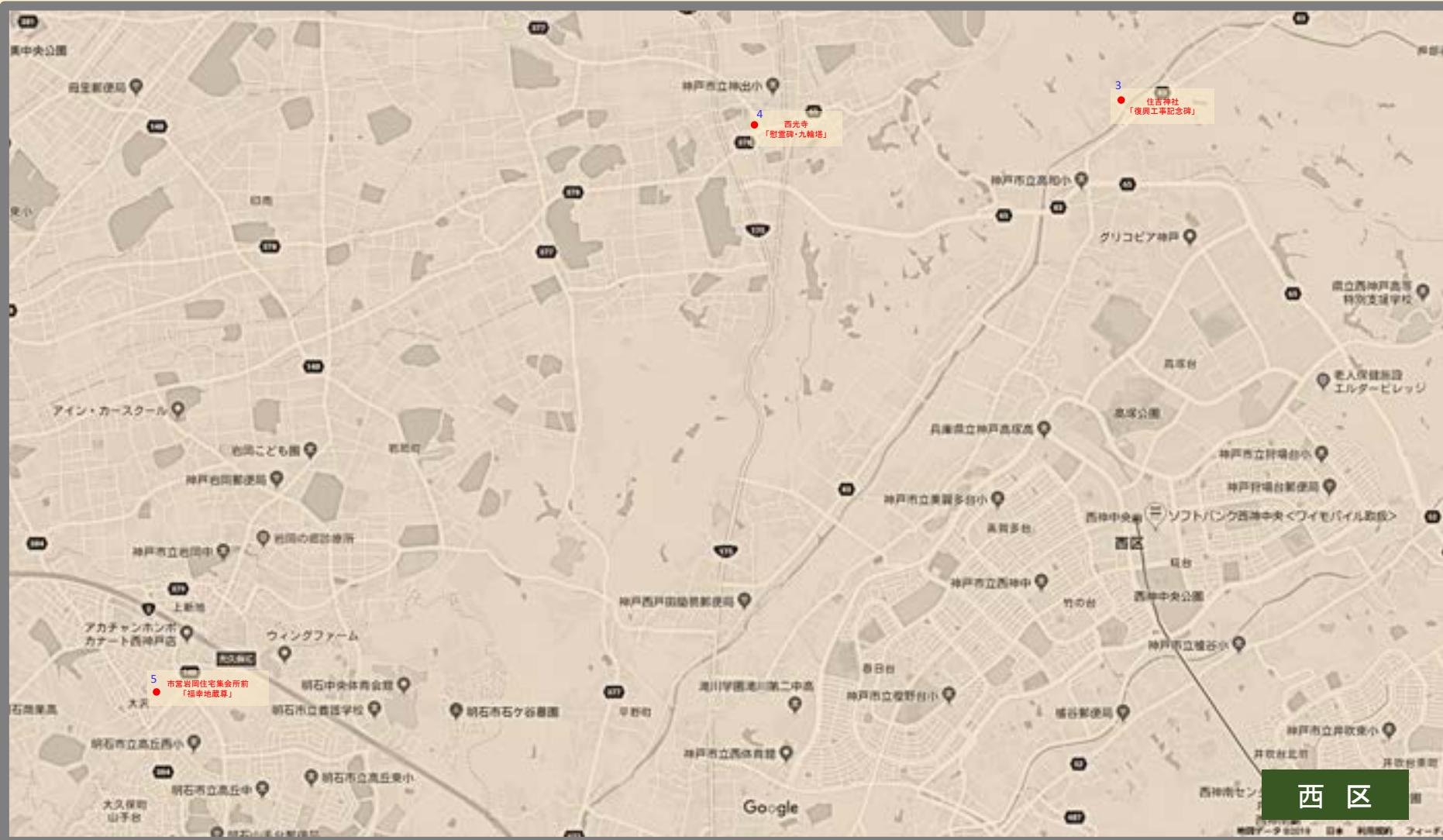
多聞六神社入口の鳥居

当神社は社務所が全壊、本殿も損壊、鳥居「貫」が抜け落下破損しました。平成8年10月に「多聞六神社復興委員会」によって再建されましたが、その際「貫」をそのまま記念碑にしようということになりました。



舞子駅前発54系統で多聞寺前バス停下車、多聞寺前の道を山田川沿いに歩いて行くと左手に多聞六神社の鳥居が見えます。

西区震災慰靈碑マップ

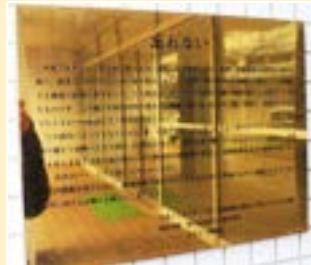


震災から25年 神戸市内の慰靈碑を訪ねて

西区の慰靈碑を訪ねて



01. 神戸市立工業高等専門学校 【銘板】



「忘れない」の銘板

地下鉄学園都市駅南交差点の側
道を東に歩き、サンマルク
神戸学園都市店を南に歩
くと右手にあります。

平成17年1月17日、震災を風化させてはいけないと5年生と全校の学生や教職員によつて、銘板「忘れない」を設置しました。本校の被災状況は、3cmほど地盤沈下した場所があり、それをそのままモニュメントとして残し、その場所に銘板を設置しました。

02. 神戸学院大学 【被災した子午線】



明石駅から
55系統のバスが
多く出ています。

神戸学院大学にある直径6.2m、重さ4tの大時計は、日本の標準時を示す「明石天文科学館」の2代目大時計で、震災によって動きを止め、撤去されることになりましたが、神戸学院大学が譲り受け、「震災を語り継ぐ使命を自ら課し」学生の目に留まるように設置されました。

03.住吉神社【復興工事記念碑】



震災で江戸期再建の神社本殿の土台の一部や土塀が壊れました。復興記念碑には「平成7年1月17阪神大震災により神社も多大な被害を受けました。氏子総意により諸々の復興工事を行いました。ここに記念碑を建立し、神社の尊嚴を後世に伝えたいと思います」と書かれています

車、明石川に架かる橋
を渡れば神社です。
市営バス73
80・81系統
細田住吉前バス停下



04.西光寺【慰靈碑・九輪塔】



明石駅発の36系統で、田井南バス停留所下車、田井の交差点を少し西に歩き、次の信号を北西に歩いた西側に西光寺があります。

当寺の住職は震災当時火葬場に運ばれてくる多くの御遺体を弔いました。そこで1年後犠牲者を弔うことから「震災慰靈塔」を建立し、後日「九輪の塔」も建てました。台座には「慈光に浴して 転生昇天 福祉興隆」と刻まれています。



05. 岩岡市営住宅 【福幸地蔵】



JR大久保駅から12分で、天郷バス停下車、南西へ歩いて行くと西側に岩岡市営住宅の団地が見えます。

岩岡市営住宅にも、各地から多くの被災者が入居しましたが、当初はコミュニケーションがうまく取れず問題も多かったため、自治会で「住民の交流の場・犠牲者を慰霊する場」になると思い建立を計画、当初は住民間の軋轢もありましたが、それを克服し建立に至り、福幸（復興）地蔵と名付けました。